

588

# 教 授 要 目

付 研究指導要項

昭和52年度

小樽商科大学

# 小樽商科大学教授要目

## 目次

### ○ 学年暦

I 授業科目履修方法 .....	1
1 昭和52年度開講科目 .....	1
2 履修方法 .....	6
3 科目試験の受験について .....	23
II 教授要目 .....	24
1 一般教育科目 .....	24
2 外国語科目 .....	30
3 保健体育科目 .....	44
4 基礎教育科目 .....	48
5 専門教育科目 .....	51
6 教職科目 .....	79
III 研究指導要項 .....	83

目要對煉學大標商專小

大 目

專 業 學 科

1 ..... 新入生オリエンテーション

1 ..... 入学式

8 ..... 履修届締切日

8 ..... 創立記念日

8 ..... 履修科目の取消期間

8 ..... 集中講義

8 ..... 夏季休業

8 ..... 教育実習

8 ..... 臨時休業

8 ..... 前期定期試験

8 ..... 後期授業開始

8 ..... 研究指導オリエンテーション

8 ..... 研究指導募集期間

8 ..... 履修科目の取消期間

8 ..... 集中講義

8 ..... 冬季休業

8 ..... 卒業論文提出締切日

8 ..... 学科課程所属オリエンテーション

8 ..... 学科課程所属募集期間

8 ..... 臨時休業

8 ..... 後期定期試験

8 ..... 卒業判定会議

8 ..... 卒業式

8 ..... 後期終了

学 年 暦 (昭和52年度)

昭和52年	4月1日(金)	前期開始
	4月14日(木)	2,3,4年次開講
	4月15日(金)	入学式
	4月16日(土) ~ 4月23日(土)	新入生オリエンテーション
	4月25日(月)	1年次開講
	5月14日(土)	履修届締切日
	7月7日(木)	創立記念日
	7月11日(月) ~ 7月21日(木)	履修科目の取消期間
	7月18日(月) ~ 7月23日(土)	集中講義
	7月22日(金) ~ 8月31日(水)	夏季休業
	8月22日(月) ~ 9月3日(土)	教育実習
	9月20日(火)	臨時休業
	9月21日(水) ~ 9月30日(金)	前期定期試験
	10月1日(土)	後期授業開始
	11月7日(月)	研究指導オリエンテーション
	11月7日(月) ~ 11月29日(火)	研究指導募集期間
	12月5日(月) ~ 12月15日(木)	履修科目の取消期間
	12月12日(月) ~ 12月17日(土)	集中講義
	12月10日(土) ~ 53年1月18日(水)	冬季休業
昭和53年	1月31日(火)	卒業論文提出締切日
	2月1日(水)	学科課程所属オリエンテーション
	2月1日(水) ~ 2月10日(金)	学科課程所属募集期間
	2月20日(月)	臨時休業
	2月21日(火) ~ 3月4日(土)	後期定期試験
	3月13日(月)	卒業判定会議
	3月15日(水)	卒業式
	3月31日(金)	後期終了

# I 授業科目履修方法

## 1. 昭和52年度 開講科目

区分	授業科目	単位数	配当年次	担当教官	備考	
一般 教科 系	哲 学	4	Ⅱ	中村 講 師	北海道大学文学部教授	
	心 理 学	4	Ⅰ	和田 助 教授		
	歴 史 学	4	Ⅱ	栗生沢 助 教授		
	日 本 文 学	4	Ⅰ	細 谷 教 授		
	外 国 文 学	英 文 学	4	Ⅰ, Ⅱ	脇 田 教 授	
		ドイ ツ 文 学	4	Ⅱ, Ⅲ	中 川 教 授	
		フ ラ ン ス 文 学	4	Ⅱ, Ⅲ	目 黒 教 授	
		中 国 文 学	4	Ⅱ, Ⅲ	川 上 教 授	
	育 科 学 系	社 会 学	4	Ⅱ	土 肥 講 師	本学短期大学部講師
		社 会 思 想 史	4	Ⅰ	八 木 橋 講 師	北海道大学文学部助教授
教 育 学		4	Ⅲ	松 田 講 師	小樽女子短期大学助教授	
法 学 (日本国憲法 2単位を含む)		4	Ⅰ	{ 青 竹 助 教授 高 見 助 教授	(前期) (後期)	
政 治 学		2	Ⅰ, Ⅱ	宮 田 講 師	東北大学法学部教授 (集中講義)	
目 自 然 科 学 系	物 理 学	4	Ⅰ	原 田 助 教授	(前期) (後期)	
	自 然 科 学 概 論	4	Ⅱ	{ 原 田 助 教授 森 岡 教 授		
	化 学	4	Ⅰ	斎 藤 教 授		
外 国 語	英 語	{ Ⅰ 4 Ⅰ Ⅱ 4 Ⅱ Ⅲ 2 Ⅲ			備考(1)参照	
	英 語 以 外 の 外 国 語	ドイ ツ 語	{ Ⅰ 4 Ⅰ Ⅱ 4 Ⅱ		{ 中 川 教 授 柘 田 講 師 ウ ル リ ツ ヒ ・ ヅ アル ベ ラ 講 師	北海道大学文学部 外国人教師
フ ラ ン ス 語		{ Ⅰ 4 Ⅰ Ⅱ 4 Ⅱ		{ 目 黒 教 授 西 講 師 ヅ エ ル ナ デ ッ タ ヅ アル ベ ラ 講 師	北海道大学文学部講師	

語	国語	中国語 { I II }	4 4	I II	川上教授	
		スペイン語 { I II }	4 4	I II	寺崎講師	
		ロシア語 { I II }	4 4	I II	松本教授	
保健体育科目	体育実技 { I II }	2	I II	杉藤中山江川教授 教授	小樽商業高校教諭	
	体育講義	2	II	森岡教授	(前期)	
基礎教育科目	経済学概論	4	I	{ 望月教授 早見教授	(前期) (後期)	
	商学概論	4	I	{ 伊藤教授 山下教授	(前期) (後期)	
	管理科学概論	4	I	{ 若林助教 沼田助教	(前期) (後期)	
	数学	4	I	白川助教		
専門教育科目	統計学	4	II	遠藤講師		
	数理統計学	4	III	久次教授		
	経済統計学	4	III, IV	長谷部教授	昭和50年度以前入学者は「経済原論」と読み替える。	
	経済原論 I	4	II	{ 増井教授 藤井教授	(前期) (後期)	
	経済変動論	4	III	増井教授		
	経済学史	4	III, IV	野沢講師	昭和50年度以前入学者は「経済学特殊問題」と読み替える。本学短期大学部助教	
	経済原論 II	4	II, III	安井講師		
	計量経済学	4	III	遠藤講師		
	経済史概論	4	II	井上助教		
	日本経済史	4	III	長谷川助教		
	経済政策	4	III	望月教授		
	農業経済学	4	III, IV	崎浦講師	北海道大学農学部教授	
	社会政策	4	III	吉武教授		
	財政学	4	III, IV	早見教授		
科目	国際経済論	4	III	麻田教授		
	貿易政策	4	III, IV	麻田教授		
	国際金融論	4	III, IV	足立教授		

専門教育科目	金融経済論	4	III, IV	釜江講師	
	銀行論	2	III, IV	山下講師	一橋大学商学部教授 (集中講義)
	マーケティング	4	II	片桐講師	本学短期大学部教授
	販売管理	4	III	山下教授	
	商業英語	4	III	北村講師	北海道薬科大学教授
	証券市場論	4	III	石原助教	
	証券金融論	4	III, IV	鈴木教授	
	経営学原理	4	II	篠崎助教	(前期)
	経営史	4	II	辻原講師	(後期)
	経営学説史	4	IV	海道講師	本学短期大学部講師
	労務管理	4	III	伊藤教授	
	生産管理	4	III	中橋助教	
	財務管理	4	III	佐賀講師	本学短期大学部講師
	簿記学	4	II	{ 中田講師 中田講師	本学短期大学部助教
会計学	4	III	久野教授		
監査論	2	III, IV	三澤講師	成蹊大学経済学部教授 (集中講義)	
原価計算	4	III	中講師		
外国書講読	4	III	{ 渡辺講師 佐々講師	本学短期大学部講師 =英語= =英語=	
科目	管理科学 I	4	III	若林助教	
	管理科学特講 I	3	III, IV	浅利講師	東海大札幌教養部助教 (前期)
	管理科学特講 IV	3	III, IV	"	(後期)
	機械化会計	6	III	山田助教	
	応用数学(代数)	6	II	沼田助教	
	応用数学(解析)	6	II	小林講師	専修大学北海道短期大学 教授
	応用数学(統計 I)	6	III, IV	清水川助教	
	応用数学特講 I	3	II	山口講師	北海道大学工学部講師 (前期)
	応用数学特講 II	3	II	"	(後期)
	計算機論 I	6	II	樋口助教	
計算機論 II	6	III	戸島助教		
憲法	4	II	高見助教		

専門 教育 科目	法学 関係 科目	行政法	4	Ⅲ	秋山講師	本学短期大学部助教授
		民法Ⅰ	4	Ⅱ	神田助教授	
		民法Ⅱ	4	Ⅲ	神田助教授 飯塚講師	(前期) 本学短期大学部助教授 (後期)
		商法Ⅰ	4	Ⅲ	青竹助教授	
		商法Ⅱ	4	Ⅲ, Ⅳ	石原講師	本学短期大学部助教授
		労働法	4	Ⅲ	道幸助教授	
		経済法	4	Ⅲ, Ⅳ	小原教授	(前期)
		国際法	4	Ⅲ	大谷助教授	
		国際機構論	4	Ⅲ, Ⅳ	丸山助教授	
		研究指導	12	Ⅲ, Ⅳ	備考(2)参照	
教 職 科 目	教育原理	4	Ⅲ	松田講師	「教育学」として開講	
	教育心理学	4	Ⅱ	大黒講師	北海道教育大学 札幌分校教授	
	商業科教育法	2	Ⅲ	米津講師	(前期)	
	道德教育の研究	2	Ⅲ	宮本講師	北海道教育大学 札幌分校教授(集中講義)	
	教育実習	2	Ⅲ, Ⅳ	麻田教授 脇田教授 中橋助教授 山田助教授 中講師		
	教育史	4	Ⅱ	竹田講師	北海道大学教育学部助教授 (後期)	
	英語(上級Ⅰ)	4	Ⅱ~Ⅳ	武本教授		
	英語(上級Ⅱ)	4	Ⅱ~Ⅳ	永原助教授		
英語学Ⅰ	4	Ⅲ, Ⅳ	北市講師	北海道大学文学部助教授		
英文学Ⅰ	4	Ⅰ, Ⅱ	脇田教授	「英文学」として開講。		
備考						
(1) 英語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲの担当教官は次のとおりである。 脇田教授, 武本教授, 永原助教授, 宮岡助教授, 君羅講師, 菊池講師(本学短期大学部教授), 高嶋講師(本学短期大学部助教授) 北市講師(北海道大学文学部助教授), 下元講師(北海道大学文学部講師) 新藤講師(北星短期大学名誉教授), 鈴木講師(小樽女子短期大学助教授) J.B. サンドース外国人教師, R.C. ホールダー外国人講師(北海道大						

学文学部外国人講師)

(2) 研究指導担当教官は次のとおりである。(学科別)

(経済学科)

麻田教授, 足立教授, 長谷部教授, 早見教授, 久次教授, 望月教授, 増井教授, 吉武教授, 井上助教授, 長谷川助教授, 遠藤講師, 釜江講師, 野沢講師

(商業学科)

鈴木教授, 斎藤教授, 久野教授, 山下教授, 和田助教授, 石原助教授, 篠崎助教授, 中橋助教授, 中講師

(管理科学科)

沼田助教授, 清水川助教授, 戸島助教授, 樋口助教授, 山田助教授, 若林助教授

(法学関係)

小原教授, 大谷助教授, 神田助教授, 青竹助教授, 丸山助教授, 高見助教授, 道幸助教授

## 2. 履修方法

学生は4年間在学し、次の事項に示された単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

(1) 単位修得については、各自が所属している、または所属しようとする学科・課程の卒業所要単位一覧表が第1表から第11表に掲げられているから、それぞれの表と「1」の昭和52年度開講科目とで本年度の履修科目を検討し、履修届を提出しなければならない。

なお、表中の単位数は最低所要の単位数を示したものであるから履修の検討には十分な注意を必要とする。

(2) 第1表から第5表までは昭和46年度以降入学者に適用、第6表から第11表までは昭和42年度～昭和45年度入学者に適用されるもので、それぞれの学科・課程に分かれているから学科・課程を決めた場合に、それぞれの表が適用される。

(3) 文学の単位は昭和45年度以前入学者については日本文学・外国文学のうち、いずれか1科目だけが卒業所要単位に算入される。昭和46年度以降入学者については、日本文学のほか、外国文学のうちいずれか1科目が卒業所要単位に算入される。

(4) 英語(I・II・III)は、1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、3年次毎週2時間2単位、合計10単位が必修である。

(5) 英語以外の外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語)は、いずれか1か国語を選択必修とし、1年次、2年次とも毎週4時間4単位ずつ計8単位を履修しなければならない。

(6) 保健体育科目の実技2単位については、1年次毎週2時間2単位の $\frac{2}{3}$ 、2年次隔週に2時間2単位の $\frac{1}{3}$ 計2単位、講義については、2年次前期毎週2時間2単位がそれぞれ必修である。

(7) 「教育原理」は履修学生の希望により「教育学」に振替えることができる。

(8) 昭和50年度以前入学者は「経済原論I」を「経済原論」と、「経済原論II」を「経済学特殊問題」とそれぞれ読み替える。

(9) 英語(上級I)、英語(上級II)、英語学I、および英文学Iは高等学校英語2級普通免許状取得のための授業科目であるが、課外科目(卒業所要単位に算入されない科目)として履修できる。また、英文学Iは一般教

育科目の英文学と同じ講義であり、履修学生の希望によりどちらかの単位とすることができる。

(10) 2年次終了までに、卒業所要単位数に算入される、1、2年次の配当科目について55単位以上を修得していない場合は、(ア)3年次以降配当の専門科目の履修は認められない、(イ)研究指導に所属できない、(ウ)卒業が1年以上延期されることになっている。また、この単位を在学期間6年を経過しても修得できない場合は除籍になります。

この55単位の算入については下記のとおりなので、履修上注意すること。

### 記

一般教育科目	28単位まで算入
外国語科目	16単位 //
体育(実技、講義)	4単位 //
基礎教育科目	8単位 //
専門教育科目	2年次配当科目

(ただし、所属学科以外の科目については28単位まで算入。また商業教員養成課程については専門科目の外に教職科目も算入。)

(11) 研究指導を履修する学生は所属する学科・課程の区分を問わず各自の志望する研究指導を毎週3時間、3年次から2か年継続授業で12単位(卒業論文を含む)を履修しなければならない。この12単位は昭和42年度～昭和45年度入学者にあっては、それぞれ所属する学科で履修しなければならない専門教育科目80単位に、また、昭和46年度以降入学者にあっては、それぞれ所属する学科で履修しなければならない専門教育科目76単位に含まれるものである。

研究指導を履修しない学生(いわゆるノンゼミと称する学生)は研究指導12単位分をそれぞれ所属する学科の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。また、商業教員養成課程に所属する学生にあっては経済学科・商業学科・管理科学科および法学関係の専門教育科目によって充足しなければならない。

なお、昭和42年度～昭和44年度入学者で管理科学科に所属する学生の研究指導12単位は必修である。

(12) 商業教員養成課程以外の学科に所属する学生で高等学校2級普通免許状(商業・英語)の取得を希望する者は、第12表(商業)、第13表の(1)(英語)の単位をそれぞれ取得しなければならない。

また、昭和52年度から「中学校教諭英語科一級」の免許状が取得可能になり、希望する者は、第13表の(2)の単位を修得することによりこの免許状を取得できる。なお、管理科学科に所属する学生には当分の間この免許状は取得できないので注意してください。

なお、これらの単位は卒業所要単位以外の単位である。

(13) 単位の互換制について

北海道大学経済学部で下記の授業科目を履修することが認められる。

[この場合の身分は北大の特別聴講学生となる。]

(ア) 聴講出願対象者

学則(1)科目履修細則第4条に規定する〔1, 2年次配当科目55単位以上〕単位数を修得した52年4月現在の4年次生。

(イ) 聴講科目

聴講科目	単位	担当教官	開講時期
北海道経済史	4	林	前期
経営立地論	4	大 爺	後期

① 「経営立地論」は「本学の経済学科および商業学科の専門科目」また「北海道経済史」は「経済学科の専門科目」として扱い、卒業単位数に算入する。

② 1科目につき20名が限度。

(ウ) 聴講期間 昭和52年4月～昭和53年3月の1年間。

(エ) 聴講料 不要。

(14) 教職科目の一部の隔年開講について

下記のとおりとなるので履修計画に注意すること

隔年開講該当教職科目	52年度	53年度	54年度	備考
教育心理学(4単位)	○	×	○	隔年開講
商業科教育法(2単位)	○	×	○	〃
職業指導(4単位)	×	○	×	〃
英語科教育法(3単位)	×	○	×	〃

○印=開講, ×印=非開講

2-1 昭和46年度以降入学者

イ 一般教育科目, 外国語科目, 保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第1表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区 分	単位数	備 考	
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上	
	社会科学系	4以上 1科目以上	〔商業教員養成課程にあっては法学(日本国憲法2単位を含む。)を含め1科目以上〕
	自然科学系	4以上 1科目以上	
	計	28	7科目以上
外国語科目	18	〔英語(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目〕	
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技	
基礎教育科目	8	2科目以上	
合 計	58		

(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち, 外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位数に算入する。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系		社会科学系		自然科学系		基礎教育科目	
授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
哲 学	4	社会科学概論	4	物 理 学	4	経済学概論	4
倫 理 学	4	社 会 学	4	自然科学概論	4	商 学 概 論	4
心 理 学	4	社会思想史	4	化 学	4	管理科学概論	4
歴史学	4	教 育 学	4	生 物 学	4	数 学	4
日本文学	4	法学(日本国憲法2単位を含む)	4				
英文学	4	政 治 学	4				
ドイツ文学	4						
フランス文学	4						
中国文学	4						
ロシア文学	4						
1科目4単位以上		1科目4単位以上		1科目4単位以上		2科目8単位以上	
7科目28単位以上							



第2表 経済学科

区分	単位数	内容
経済学科科目	36	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 36単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうち, いずれか3科目を含める。
商業学科科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに経営学原理, 会計学, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 民法Ⅰ, 民法Ⅱ, 商法Ⅰ, 商法Ⅱのうちいずれか2科目を含める。
管理科学科科目		
法学関係科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。  
昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。

第3表 商業学科

区分	単位数	内容
商業学科科目	36	「研究指導」を除いた科目
経済学科科目	28	「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目
管理科学科科目		
法学関係科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 研究指導を履修しない者は, 商業学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。

第4表 管理科学科

区分	単位数	内容
管理科学科科目	36	「研究指導」を除いた科目
経済学科科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目 2. 28単位のなかに, 統計学, 経済原論Ⅰ, 経営学原理, 会計学のうちいずれか2科目を含める。
商業学科科目		
法学関係科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 研究指導を履修しない者は, 管理科学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。  
昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。

第5表 商業教員養成課程

区分	単位数	内容
専門教育科目 (経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係の全科目)	44	1. 「研究指導」を除いた科目 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ, 統計学, マーケティング, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 簿記学, 会計学, 計算機論Ⅰ, 事務機械化, 民法Ⅰ, 商法Ⅰのうちいずれか6科目(24単位)以上を含める。
教科に関する専門科目	4	職業指導を必修とする。
教職科目	16	教育原理, 教育心理学, 商業科教育法, 教育史, 教育実習を必修とする。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係の各科目から, さらに12単位を履修しなければならない。  
昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。

2-2 昭和42年度～昭和45年度入学者

イ 一般教育科目，外国語科目，保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第6表 経済学科・商業学科および管理科学科

区 分	単位数	必 修 科 目
一般教育科目	人文科学系	12 3科目以上
	社会科学系	8 2科目以上
	自然科学系	8 2科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III) 英語以外の外国語(5科目)のうち、いずれか1科目
保健体育科目	4	実技，講義
基礎教育科目	16	経済学概論，商学概論，管理科学概論，数学
合 計	66	
備考 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち，日本文学および外国文学の単位については，そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。		

第7表 商業教員養成課程

区 分	単位数	必 修 科 目
一般教育科目	人文科学系	12 3科目以上
	社会科学系	12 経済学概論，法学(日本国憲法2単位を含む)を含め3科目以上
	自然科学系	12 数学を含め3科目以上
	計	36 9科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III) 英語以外の外国語(5科目)のうち、いずれか1科目
保健体育科目	4	実技，講義
基礎教育科目	8	商学概論，管理科学概論
合 計	66	
備考 一般教育科目(人文科学系)のうち，日本文学および外国文学の単位については，そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。		

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲 学 4	社会科学概論 4	物 理 学 4	経済学概論 4
倫 理 学 4	社 会 学 4	自然科学概論 4	商 学 概 論 4
心 理 学 4	社会思想史 4	化 学 4	管理科学概論 4
歴 史 学 4	法学(日本国憲法) 4	生 物 学 4	数 学 4
日本文学 4	政 治 学 4		
英 文 学 4	教 育 学 4		
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
3科目 12単位	2科目 8単位	2科目 8単位	全科目 必修
7科目 28単位			4科目 16単位

第8表 経済学科

区分	内容	単位数
必修科目	統計学, 経済原論Ⅰ, 経済史概論, 経営学原理, 会計学, 民法Ⅰ, 商法Ⅰ	28
選択科目	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	24
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	
	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目	
	研究指導	
計		16
計		12
卒業所要単位		80
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。</li> <li>○ 「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。</li> </ul>	

〔注〕14頁から19頁に記載されている別表第1とは「学園生活の手びき」に記載されている学則第11条の別表第1を示す。

区分	内容	単位数
必修科目	マーケティング, 経営学原理, 労務管理, 簿記学, 会計学, 統計学, 経済原論Ⅰ, 民法Ⅰ, 商法Ⅰ	36
選択科目	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	20
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	
	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目	
	研究指導	
計		12
計		12
卒業所要単位		80
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究指導を履修しない者は, 商業学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。</li> <li>○ 「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。</li> </ul>	

第10表 管理科学科

a 管理科学コース (昭和42~44年度入学者)

区分	内容	単位数
必修科目	研究指導, 統計学, 経済原論Ⅰ	20
選択科目	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	36
	「研究指導」および上欄から選択した科目を除いた科目	8
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目	
経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	16	
計		80
卒業所要単位		146
備考		
1. 研究指導について「管理科学研究指導Ⅰ」または「管理科学研究指導Ⅱ」を履修しなければならない。 2. 「管理科学研究指導Ⅰ」の履修者は「管理科学Ⅰ」の、「管理科学研究指導Ⅱ」の履修は「管理科学Ⅱ」の単位を修得することができない。 3. 「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

b 管理科学コース (昭和45年度入学者)

区分	内容	単位数
選択必修科目	統計学, 経済原論Ⅰ, 経営学原理, 会計学のうちから	8
選択科目	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	36
	「研究指導」を除いた科目	24
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目	
研究指導		12
計		80
卒業所要単位		146
備考		
1. 研究指導を履修しない者は, 管理科学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。 2. この表は昭和45年度入学者に適用する。 3. 「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

c 機械化会計コース (昭和42~44年度入学者)

区 分	内 容	単位数	
必 修 科 目	研究指導, 統計学, 経済原論Ⅰ, 簿記学, 会計学	28	
選 択 科 目	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	24	
	「研究指導」および上欄から選択した科目を除いた科目	12	
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目		「必修科目」および「研究指導」を除いた科目
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目		「必修科目」および「研究指導」を除いた科目
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目		「研究指導」を除いた科目
商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	「必修科目」および「研究指導」を除いた科目	16	
計		80	
卒業所要単位		146	
備 考			
1. 研究指導については、「機械化会計研究指導」を履修しなければならない。 2. この表は昭和42年度生から適用する。 3. 「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。			

d 機械化会計コース (昭和45年度入学者)

区 分	内 容	単位数	
必 修 科 目	統計学, 経済原論Ⅰ, 簿記学, 会計学	16	
選 択 科 目	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	24	
	「研究指導」および上欄から選択した科目を除いた科目	28	
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目		「必修科目」および「研究指導」を除いた科目
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目		「必修科目」および「研究指導」を除いた科目
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目		「研究指導」を除いた科目
研 究 指 導		12	
計		80	
卒業所要単位		146	
備 考			
1. 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。 2. この表は昭和45年度入学者に適用する。 3. 「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。			

第11表 商業教員養成課程

区 分	単位数	必 修 科 目
専 門 教 育 科 目 (経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係 科目の全科目)	48	統計学, 経済原論Ⅰ, 経営学原理, 簿記学, 会計学, 民法Ⅰ, 商法Ⅰ
教科に関する専門科目	4	職業指導
教 職 科 目	16	教育原理, 教育心理学, 商業科教育 法, 教育史, 教育実習
研 究 指 導	12	
計	80	
卒 業 所 要 単 位	146	
備 考		
1. 専門教育科目のうち必修科目以外の科目の履修は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係科目の全科目から履修することができる。 2. 研究指導については, 経済学科研究指導・商業学科研究指導・管理科学研究指導Ⅰ・管理科学研究指導Ⅱ・機械化会計研究指導および法学関係研究指導のうちいずれかひとつを履修するものとする。 3. 研究指導を履修しない者は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科および法学関係の科目について, 「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。 4. 「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

第12表 商業教員免許資格取得希望者の単位修得方法

区 分	単位数	必 修 科 目
一般教育科目 (社会科学系)		法学(日本国憲法2単位を含む)
教職に関する 専 門 科 目	16	教育原理4単位, 教育心理学4単位, 商業科教育 法2単位, 教育実習2単位, 教育史4単位
教科に関する 専 門 科 目	4	職業指導
合 計	20	
備 考		
この表は商業教員養成課程以外の学科に所属する学生に適用するもので, それぞれの学科の卒業所要単位のほかに上記の単位数を修得しなければならない。 なお, 卒業所要単位の中には商業の関係科目(16単位)を次の科目の中から修得しなければならない。 統計学, 経済原論Ⅰ, マーケティング, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 企業形態論, 簿記学, 会計学, 事務機械化, 計算機論Ⅰ, 民法Ⅰ, 商法Ⅰ		

第13表 英語科教員免許資格取得希望者の単位修得方法

(1) 高等学校教諭の場合

区 分	単位数	必 修 科 目	選 択 科 目
一般教育科目 (社会科学系)		法学(日本国憲法2単位を 含む)	
教科に関する 専 門 科 目	32	英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英文学Ⅰ 英文学Ⅱ	商業英語 英語(上級Ⅰ) 〃(上級Ⅱ) 〃(上級Ⅲ) 〃(上級Ⅳ)
教職に関する 専 門 科 目	17	教育原理4単位, 教育心理 学4単位, 英語科教育法3 単位, 教育実習2単位, 教 育史4単位	
合 計	49		
備 考			
1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし, 商業教員養成課程の学生は, 教科に関する専門科目の単位数と, 教職に関する専門科目のうち英語科教育法を修得すればよい。 2. 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は, 12表, 13表両方の場合に併合できる。			

(2) 中学校教諭の場合

上記(1)の「教職に関する専門科目」以外に「道德教育の研究」2単位を修得すれば、管理科学科所属の学生を除いて中学校教諭英語科一級普通免許状をも取得できる。

第14表 社会科教員免許資格取得希望者

この免許教科は、すでに高等学校教諭商業科または英語科2級普通免許状を取得している者が、さらに、社会科の2級普通免許状を取得しようとするとき、免許法施行規則第4条に規定する当該教科の教科に関する専門科目の一部として、本学開講科目について、備考欄のとおり取扱う。ただし、本学での開講科目を修得しただけでは、当該教科としての教科に関する専門科目としては不足であるので、注意を要する。

授 業 科 目	備 考
経 済 原 論 Ⅰ	「経済学」に属するもの
経 済 変 動 論	〃
経 済 学 史	〃
経 済 原 論 Ⅱ	〃
計 量 経 済 学	〃
経 済 政 策	〃
工 業 経 済 学	〃
農 業 経 済 学	〃
社 会 政 策	〃
財 政 学	〃
国 際 経 済 論	〃
貿 易 政 策	〃
国 際 金 融 論	〃
金 融 経 済 論	〃
銀 行 論	〃
経 済 史 概 論	「日本史及び外国史」に属するもの。
日 本 経 済 史	〃
○ 憲 法	「法律学」に属するもの。
○ 民 法 Ⅰ	〃
○ 民 法 Ⅱ	〃
○ 労 働 法	〃
○ 商 法 Ⅰ	〃
○ 商 法 Ⅱ	〃
○ 経 済 法	〃
○ 国 際 法	〃
○ 国 際 機 構 論	〃

注 1 経済史概論及び日本経済史を「日本史及び外国史」として使用する場合は、歴史学を修得すること。  
 2 表中○印を付した授業科目を「法律学」として使用する場合は、法学を修得すること。

3. 科目試験の受験について

定期試験（前期，後期）およびこれに準ずる試験を受験する場合，次の注意事項を厳守して，不利益をうけることのないよう十分留意してください。

★受験に際しての注意事項（科目試験実施要項の要約）

1. 指定された席に着席すること。（指定の席は，履修届により決定され，また試験開始5分前には着席し，待機すること。）
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない。
3. 試験時刻におくれた者は原則として受験できない。ただし，20分以内の遅刻者は，事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了10分前以後は退場できない。
6. 教科書，参考書，ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め，机の中にそれらを入れないこと。
7. 教科書，参考書，ノートなどの参照を許された試験においては，それらの貸借を禁止する。受験生の間で，貸借のあった場合は，それを不正行為とみなす。
8. 配布された答案用紙は必ず提出し，持ち帰ることのないこと。
9. 試験場において，私語，その他いやしくも疑惑を招くような行為のないよう特に留意し，厳正な態度で受験すること。
10. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させられる。

以上

## Ⅱ 教授要目

### 1 一般教育科目

哲 学 非常勤講師 中 村 一 彦  
(北海道大学文学部教授)

- I. 「哲学」の意味。
- II. 哲学の本質(その起源よりの考察)。
- III. 我々にとって哲学がどんな意味をもつか。
- IV. 哲学の対象の問題。
- V. 認識の問題。
- VI. 更に哲学を学ぶために。

心 理 学 助教授 和 田 完

まず心理学の研究対象, 方法, 歴史的な叙述を通して現代心理学の性格を解き明かす。以下, 動機づけ, 知覚, 学習等の実験心理学の成果を踏まえながら, 学生諸君の関心を引きそうなくつかの話題を提供し, 解釈を試みる。例えば, 頭の良さとは何か, 我々の視覚ははたしてカメラのように外的刺激を受動的に受け入れるだけなのか, 夢とは何か, 等々。また, 社会的に学習した行動の一形として, 飲酒行動を挙げ, 学習理論や文化人類学的情報も加味しながら説明するつもりである。

テキスト: 和田完, 馬場雄二著「この知ある者にして気ままなる者」明玄書房

歴 史 学 助教授 栗生沢 猛 夫

歴史的個体としてのヨーロッパの特質をさぐるものが主題となる。主題への手がかりとして, 「都市」とくに西欧中世都市をめぐる問題をとりあげるが, 従来看過されがちであった東欧及び非ヨーロッパ地域にも考察の目をひ

ろげ, 比較史的に対象にせまることとしたい。テキストは特に指定しない。講義のなかで種々の文献を紹介する。

日 本 文 学 教授 細 谷 直 樹

室町という下剋上の時代に旧と新がどんなふうにあつたり合ったか。そこから生まれたもの, 失われたものを, 今日の世相と重ね合わせながら考えてみたい。前期では世阿弥を中心に考え, 後期では和歌, 連歌, 歌謡に言及するつもりである。

前期教科書, 野上豊一郎・西尾実校訂「風姿花伝」(岩波文庫)

英 文 学 教授 脇 田 勇

テキスト 斎藤勇著 英文学史概説 研究社 1,400円

参考書

Legouis and Cazamian: *History of English Literature*  
J.M. Dent & Sons Ltd.

Harvey: *Oxford Companion to English Literature*  
Oxford University Press

斎藤勇著: イギリス文学史 研究社

前半の講義で英文学の流れを鳥瞰する。後半において, 個々の事項, 例えば散文(小説, エッセイ, 日記, 伝記など)の歴史に焦点をしばり詳説する。年間講義中, 英文によるレポートを要求する計画であるから, 履習のためには, 相当の英作文能力が要求される。

ド イ ツ 文 学 教授 中 川 勇 治

まず第一にドイツ文学への導入として, 個々の作品の理解や鑑賞に役立つと思われる基礎的な知識——ドイツ的発想法, 文学史的展望, ドイツ文学の社会的, 思想的背景等——を概説する。参考文献として, 手塚富雄「ドイツ文学案内」, ハインリヒ・ハイネ「ドイツ古典哲学の本質」(いずれも岩波文庫)を挙げておく。

次に, ドイツ現代小説を取りあげて, その特質や問題点を考察するが, 具体的には以下の作品を扱う。1. ゲーテ「ヴィルヘルム・マイスター」(徒弟



時代と遍歴時代の両者) 2. トーマス・マン「魔の山」 3. ヘルマン・ブロッホ「夢遊病者たち」 4. フランツ・カフカ「訴訟」 5. ロベルト・ムジル「特性のない男」

これらはいずれも和訳があるから、受講者は一読されるよう希望する。

## フランス文学

教授 目黒士門

現代フランス文学の作品講読を行なう。

用書 サルトル『壁』(町田徳之助編) 第三書房刊 ¥470.

## 中国文学

教授 川上久壽

魯迅論,

魯迅の作品とそれ以前の文学との関係をソ連のセマノフの魯迅論を中心として述べる。

## 社会学

非常勤講師 土肥恒之

(小樽商科大学短期大学部講師)

村落共同体をめぐる諸問題

前期, 村落共同体研究の方法とその意味。とりわけアジアにおける村落共同体研究の現状を紹介しながら, その方法に関するいろいろな問題を考察します。

後期, ロシア社会とミール共同体。村落共同体のユニークな在り方として注目をあつめているミールを, ロシア社会の具体的展開のなかで検討します。

参考文献,

本田喜代治編訳『アジア的生産様式の問題』(岩波書店, 1966)

市川泰治郎編訳『社会構成の歴史理論』(未来社, 1977)

ほか, その都度, 指摘します。

## 社会思想史

非常勤講師 八木橋貢

(北海道大学文学部助教授)

私たちがその中に生き, 否応なしに巻き込まれている社会は, 西欧の近代化をモデルとしつつも, 独自の歴史的経過と特有な歪みをもつ「市民社会」

である。この社会思想史の講義は, この「市民社会」の構造や問題が見えてくる手がかりを追究するところにその狙いがある。

まず第一に, 近代ヨーロッパの「市民社会」の成立と展開を, それに対応する思想との動的連関を捉えることを軸にして探ってみたい。1) 中世の世界と都市の成立。2) ルネッサンス——とくにフィレンツェを中心に—— 3) 宗教改革とピューリタン革命。4) 近代自然法思想の展開——ホッブズ, ロック, ルソー 5) 「引き裂かれた自己」——ルソーの「市民社会」論—— 6) スミスの「市民社会」論。7) ヘーゲルの「市民社会」論。8) マルクスの「市民社会」論。9) ヴェーバーの近代化論。10) ハーバーマスの後期資本主義論。以上を予定している。

つぎに, 「市民社会」の問題を, とくに「公」と「私」に焦点をしぼり, 1840年代を中心に少し掘り下げて考えてみたい。「公共性の構造転換」を軸に, ロマン主義, 初期マルクスの思想, 「官僚制」の問題を思想史的に考察する予定である。

テキスト: 城塚登『近代社会思想史』(東大出版会) および随時プリント配布。

参考書: 講義の進行に応じて指示する。

## 教育学

非常勤講師 松田光一

(小樽女子短期大学助教授)

教育をとりまく(現代の状況は多様かつ複雑化している。それを分析してゆく視点も一様ではないが)講義では主として経済的脈絡に重点をおいて話を進めるよう考えている。すなわち教育機能の検討や高等教育の拡大, 産業と教育の相互連関等を中心にしつつ社会的事実としての教育を分析する予定である。なおテキストは使用せず, 参考文献はそのつど紹介する。

## 法学(日本国憲法) (前期)

助教授 青竹正一

前半は, 専門科目としての民法, 商法, 行政法, 経済法, 労働法などを学ぶうえでの予備的知識を与えるために, 具体的事例をとりあげて, 法の目的, 法の解釈の性質, 裁判・判例とはどのようなものであるかなどについて講義する。

教科書はとくに使用しないが, 参考書は講義の初めに紹介する。

法学 (日本国憲法 (2単位を含む)) (後期) 助教授 高見 勝利

大学で法律関係科目を履習するうえで最少限要求される基礎的知識について、わが国の裁判制度と関連させながら、具体的な事例を中心に習得させる予定である。

教材：田中英夫編著『実定法学入門 (第3版)』東大出版会

政治学 (集中講義 (2単位)) 非常勤講師 宮田 光男 (東北大学法学部教授)

物理学 助教授 原田 稔

現代物理学の大きな基礎の一つである量子論についての初等的な解説をジョージ・ガモフ著「現代の物理学—量子論物語」(河出書房新社)にそって行なう予定。

自然科学概論 (前期) 助教授 原田 稔

個別科学の発展史とか、「完成品」としての科学の紹介ではなしに、「発展・成長途上の物」としての科学について話をしたい。極言すると「答のない問題」について考えようとするわけである。話はどうしても抽象的になるので具体性を与える足場として物理学を用いる。教科書は使用しない。

自然科学概論 (後期) 教授 森岡 知一

他の自然科学との対比において生物学を概説し、科学としての生物学と社会との相互依存についても考察したい。

化学 教授 斉藤 要

化学は一つの教育体系をもった学問であるが、その体系は化学を専攻する学生にとって都合よくできているようである。

教育課程の化学は、この体系を希釈したり、あるいは一部を拡大したものであるが、本年度は基礎化学部門として、化学において対象を認識してゆく科学方法論と基礎的な仮説とか法則を唯物論的立場から検討を加え、さらに応用化学部門として技術革新に対応する石油化学の発展史と、その発展がもたらす諸問題などについて述べたいと思う。

なお教科書は使用しないが、参考書は必要に応じて紹介し、さらにおりを見ても実験も行なう。

## 2 外国語科目

### 英語

#### (A) 英語履修方法

- (1) 英語の授業は、教室内における2時間の講義に対し、教室外における1時間の学習を必要とするものとし、毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする。(学則第12条の2参照)
- (2) 英語(I・II・III)は1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、3年次毎週2時間2単位、合計10単位が必修となる。(学則第10条および第11条別表第1の(2)参照)
- (3) 昭和52年度の英語クラス配置および教科の種別は別表の通りである。
- (4) 別表のうち、Eではじまる3ケタの数字はクラス別をあらわす記号である。3ケタ目の1, 2, 3は履修基準年次で、2ケタ目は教科の種別を示している。0は文学作品の講読。1は評論, 伝記, 語学書等の文学作品以外の講読で、2は会話作文等, 3は文法である。1ケタ目の1, 2, 3……はクラス別を示す。
- (5) 基準年次に配当されているクラスの選択は自由である。しかし、英語Iは講読2単位と他のクラスの講読か会話若しくは文法のうちいずれか2単位合計4単位、英語IIは同じく講読2単位と他のクラスの講読か会話作文等のうちいずれか2単位合計4単位、英語IIIは講読2単位を選択履修すること。
- (6) 履修する学生は教授要目をよく読み、最初の授業に出席した上で自主的にクラスを選択すること。
- (7) 履修登録の手続きは、希望するクラス名をカードに書き込み、学生課の窓口へ提出すること。詳細について別途指示する(学生課の掲示に注意)。なお、当然のことながら、学生部長へ提出する「履修届」には、この登録の結果を記入すること。

#### (B) 別表(昭和52年度英語クラス)

	I	II	III
講 学 作 品	E101 脇 田	E201 脇 田	E301 脇 田
	E102 永 原	E202 永 原	E302 永 原
	E103 永 原	E203 君 羅	E303 君 羅
	E104 君羅・宮岡	E204 君 羅	
	E105 君 羅	E205 菊 池	
評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	E111 高嶋・宮岡	E211 武 本	E311 武 本
	E112 下元・君羅	E212 武 本	E312 Sanders
	E113 新 藤	E213 鈴木・宮岡	E313 下元・宮岡
	E114 新 藤	E214 鈴木・宮岡	E314 菊 池
		E215 北 市	
		E216 北 市	
会 話	E121(AB) Sanders	E221 Sanders	
	E122(AB) Sanders	E222 Sanders	
	E123(AB) Sanders	E223 Holder	
	E124(AB) Sanders		
作 文	E125 Holder		
	E126 Holder		
文 法	E131 武 本		

### 英語 I

#### [英語共通試験実施要項]

1. 英語I履修者には課外テキストを指定し、年2回共通試験を行なう。
2. 共通試験は、前期及び後期の各定期試験期間中に行なう。どちらか1つの試験に合格すればよい。
3. 共通試験に合格しなければ、クラスでの成績如何にかかわらず、英語Iの単位(2科目4単位)を取得することができない。
4. 共通試験に合格しても、クラスでの成績が合格点に達しなければそのクラスの単位を取得できないのはもちろんであるが、この場合、再履修する時に共通試験はあらためて受けなくともよい。
5. 英語Iを受講した者は、共通試験の成績に関係なく、全員が英語IIを履

修できる。

6. 課外テキスト

イ. (昭和50年度生・昭和51年度生)

小川芳男著「高等英文法」有精堂, ¥980.

(ただし, 希望者は下記のテキストにより受験してもよい。)

ロ. (昭和52年度生)

細江逸記著「新要約英文法」泰文堂

○ E101 教授 脇田 勇

テキスト: W.S. Maugham, *The Colonel's Lady & Other Stories*.  
英宝社, ¥700.

○ E102| 助教授 永原 和夫  
○ E103|

テキスト: Lewis Carroll, *Through the Looking-Glass and What  
Alice Found There*. 北星堂, ¥650.

○ E104 (前期) 講師 君羅 久 則

テキスト: M. Spark, *The Dark Glasses and Other Stories*. 鶴見書店,  
¥350.

(後期) 助教授 宮岡 伯 人

○ E105 講師 君羅 久 則

テキスト: M. Spark, *Voices at Play*. 松柏社, ¥520.  
M. Spark, *The Pawnbroker's Wife and Other Stories*.  
学書房, ¥550.

○ E111 (前期) 非常勤講師 高 嶋 稔  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

テキスト: A. H. Marckwardt & R. Quirk, *A Common Language*.  
研究社, ¥550.

J. C. Condon, *Words, Words, Words...* 成美堂, ¥650.

平易な英文を読んで, その要旨を的確に把握することと, 科学的な文を正確に理解する読解力を身につけることを中心とし, 英語はどのような言語か, を知ることがこのクラスの目的である。

教室では英語を日本語におきかえる, いわゆる逐語訳は行なわない。各自がクラスに出席する前にテキストをよく読み, 英文の理解や内容についての疑問点や問題点をまとめて教室に持ち寄り, みんなで検討する方法をとる。従って, テキストを前もって読まないでクラスに出席することは無意味であるし, 授業は学生の自主的, 積極的な勉強を前提として進める。

テキストの内容その他詳細については, 最初の授業の時に話すので, 履修希望者は必ず出席されたい。

(後期) 助教授 宮岡 伯 人

○ E112 (前期) 非常勤講師 下 元 輝 明  
(北海道大学文学部講師)

テキスト: E. Fromm, *The Forgotten Language*. 松柏社, ¥600.

(注意) 前期に1/3以上欠席した学生は履修者名簿から除外します。特に卒業年次の過年度学生に対して, 就職決定を理由に便宜をはかったことはありませんし, これからもそのようなことはありません。念のためにつけ加えておきます。

(後期) 講師 君羅 久 則

○ E113| 非常勤講師 新 藤 甚 蔵  
○ E114|  
(北星短期大学名誉教授)

テキスト: N. V. Peale & Others, *Essays for Young People* [I].  
松柏社, ¥500.

M. Komroff & Others, *Essays for Young People* [II].  
松柏社, ¥500.

- E121 (A & B)
  - E122 (A & B)
  - E123 (A & B)
  - E124 (A & B)
- 外国人教師 Jon Barry Sanders

Text : Robert Lado, *Lado English Series*, Book 2.

These are classes in oral or spoken English, and the course is based upon the Language Laboratory. Students in these classes are required to attend the Language Laboratory each week to listen to that week's lesson. Classroom work emphasizes oral drill and conversation. There will be a mid-year and a final examination, both oral. Attendance is important. Any student who misses more than five (5) classes will not pass.

- E125}
  - E126}
- 非常勤講師 Robert C. Holder  
(北海道大学文学部外国人教師)

TEXTS : *New Horizons in English 4*

*New Horizons in English 4—Workbook*

This course will emphasize the use and practice of the spoken language. We will use the language lab. every week. In addition, there will be brief reading and written assignments every week. We will have a mid-term exam and a final exam, and occasional short quizzes.

- E131
- 教授 武本昌三

テキスト : Milward & Kanaguchi, *Fresh English*. 朝日出版社, ¥760.

Reading と writing を通じて英語の文法を理解していくことに努める。共通試験未修の二年次以上の希望者のみを対象とし、一年次生はこのクラスを履修することが出来ない。クラスの性格上、出席を重視し、欠席が三分の一を超える者には、テストの成績如何にかかわらず、原則として単位は認めない。

※このクラスの単位取得者は共通試験に合格したものとみなす。

## 英語 II

- E201
- 教授 脇田 勇

テキスト : W.S. Maugham, *Books and You*. 金星堂, ¥680.

- E202
- 助教授 永原 和夫

テキスト : Ernest Hemingway, *A Farewell to Arms*,  
Eichosha-Penguin Books. 英潮社, ¥1,000.

- E203
  - E204
- 講師 君羅 久則

テキスト : Margaret Drabble, *The Millstone*, Eichosha-Penguin  
Books. 英潮社, ¥890.

- E205
- 非常勤講師 菊池 昭  
(小樽商科大学短期大学部教授)

テキスト : J.C. Oates, *Upon the Sweeping Flood*. 文理, ¥550.

- E211
  - E212
- 教授 武本昌三

テキスト : Norman Wymer, *Big Business in the World*. 英潮社,  
¥400.

テキストを正確に読むだけでなく、その内容についてのwritingやspeakingのpracticeも出来るだけ併行して行っていくようにしたい。そのためにも出席を重視し、欠席が三分の一を超える者には、テストの成績如何にかかわらず、原則として単位は認めない。

- E213}
  - E214}
- (前期) 非常勤講師 鈴木良克  
(小樽女子短期大学助教授)

テキスト : George R. Stewart, *American Ways of Life*. 成美堂, ¥500.

(後期) 助教授 宮岡 伯人

○ E215 } 非常勤講師 北 市 陽 一  
○ E216 }  
(北海道大学文学部助教授)

テキスト : (イ) Newsweek編, *America-A Self-Portrait at 200*. 南雲堂,  
¥680. および英文雑誌(後日指定する)。

(ロ) Vance Johnson, *American Life and Humor*. 金星堂。

(イ) を講読用に使用する。速読の訓練を目標とする。

(ロ) を主として英作文用に併用する。

(注意) 前期に $\frac{1}{3}$ 以上欠席した学生は履修者名簿から除外します。特に卒業年次の過年度学生に対して、就職決定を理由に便宜をはかったことはありませんし、これからもそのようなことはありません。念のためにつけ加えておきます。

○ E221 } 外国人教師 Jon Barry Sanders  
○ E222 }

Text : Haydon, Pilgrim, & Haggard, *Mastering American English*.  
Tuttle, ¥900.

These are classes in English composition, and the emphasis will be upon gaining skill in writing in English. The course will begin with a review of the mechanics (especially punctuation) of English grammar and move on to a consideration of various types of sentences. Following this, there will be practice in writing paragraphs and longer compositions. The goal of the class is for each student to gain ability and confidence in writing English clearly and correctly. There will be no examinations in the course, but there will be many writing assignments. Students may also be asked to keep journals. Attendance is very important—any student who misses more than five (5) classes will not pass.

○ E223 非常勤講師 Robert C. Holder

(北海道大学文学部外国人教師)

TEXTS : *New Horizons in English 4*  
*New Horizons in English 4—Workbook*

The main emphasis in this course will be upon written English. We will also give attention to the connection between the spoken and written language, and will use the language lab. for brief periods every other week. There will be a mid-term exam and a final exam, as well as various smaller written assignments and quizzes throughout the year.

### 英 語 Ⅲ

○ E301 教授 脇 田 勇

テキスト : W. S. Maugham, *Of Human Bondage*, Eichosha-Penguin Books. 英潮社, ¥1,800.

○ E302 助教授 永 原 和 夫

テキスト : George Orwell, *Nineteen Eighty-Four*, Eichosha-Penguin Books. 英潮社, ¥1,000.

○ E303 講師 君 羅 久 則

テキスト : W. Shakespeare, *Julius Caesar*. 研究社, ¥580.

○ E311 教授 武 本 昌 三

テキスト : Jack Seward, *The American and the Japanese*. 英潮社,  
¥400.

Reading だけではなく writing の練習も併せて行なう。英作文または

dictation の小テストを年間十数回行なうが、その中、十回以上テストを受け、合格点に達した者にのみ単位を認める。

○ E312 外国人教師 **Jon Barry Sanders**

Literary Theory and Criticism

Texts : Northrop Frye, *The Educated Imagination*. 鶴見書店, ¥600.  
J.E. Miller, Jr. ed., *Modern Theories of Fiction-Myth and Method*. 文理, ¥700.

○ E313 (前期) 非常勤講師 **下元輝明**  
(北海道大学文学部講師)

テキスト：プリントを使用する。

(注意) 前期に1/3以上欠席した学生は、履修者名簿から除外します。特に卒業年次の過年度学生に対して、就職決定を理由に便宜をはかったことはありませんし、これからもそのようなことはありません。念のためつけ加えておきます。

(後期) 助教授 **宮岡伯人**

○ E314 非常勤講師 **菊池昭**  
(小樽商科大学短期大学部教授)

テキスト：E. Fromm, *Dream Interpretation*. 英宝社, ¥720.

ドイツ語 I・II

外国人講師 **Ulrich Walberer**  
(北海道大学文学部外国人教師)  
火曜日 { 講師 **栢田義一**

使用テキスト { ドイツ語 I (A・B) …フォルダーヴェルベケ/嶋屋  
「ドイツ語初級コース」¥1,000, 郁文堂  
ドイツ語 II (A・B) …フォルダーヴェルベケ/嶋屋  
前年度よりの継続

火曜日のドイツ語はドイツ人講師を中心とする会話主導の授業となる。日本人教師は介添役としてドイツ人講師と学習者とのギャップを補填することになろう。なお、ドイツ語 II は前年度からの継続である。

◎週二回の授業のうち、一回はドイツ人講師中心の授業となる点は、従来と同じである。この時間の主眼は、ドイツ語の文章構造や基本文型の理解と習得を、事情の許す限り耳と口とを通して行なうことにある。

	ドイツ語 I	ドイツ語 II
木曜日	Aクラス 教授 中川勇治 Bクラス 講師 栢田義一	Aクラス 教授 中川勇治 Bクラス 講師 栢田義一

ドイツ語 I A 教授 中川勇治

文法を中心にドイツ語の基本構造を理解するのが授業の目的である。時間的に制約があるので受講者の集中的な学習が望ましい。

テキスト：小塩節「現代のドイツ文法」(三訂版)三修社  
参考書、辞典については授業中に説明、紹介する。

ドイツ語 II A 教授 中川勇治

前期はドイツ語の文章に慣れることを目的とし、比較的平易なテキストを用いてできるかぎり多く読むことにする。後期には内容、表現の高度なテキ

ストを選んで精読する。学習者はとくに語彙の充実に心がけられたい。

当面のテキストは下記の通り。

M. ミュンツァー著「危険な週末」白水社

### ドイツ語 I B 講師 栞田 義一

教科書 有賀健他編「新録のドイツ文法(77年版)」朝日出版社 860円

### ドイツ語 II B 講師 栞田 義一

教科書 ロベルト・シンチンガー著「ニーベルンゲン」南江堂

辞書については、開講時に紹介します。

### フランス語

下記のクラス編成に従って受講すること。所属クラスは別途発表する。

	フランス語 I	フランス語 II
火	A組(ワルベラ) B組(目黒)	A組(ワルベラ) B組(目黒)
木	A組(目黒) B組(西)	A組(目黒) B組(西)

### フランス語 I 教授 目黒士門

A組(木曜日) 用書 土居寛之著『基本フランス語文法』(白水社) ¥800-

B組(火曜日) 用書 朝倉季雄編『朝倉フランス語読本』(白水社) ¥600-

### フランス語 I 非常勤講師 西 昌樹 (北海道大学講師)

B組(木曜日) 用書 島岡 茂著『フランス小文法』(白水社) ¥850-

### フランス語 I 外国人講師 Bernadette WALBERER

A組(火曜日) 視聴覚教材: CREDIF《DE VIVE VOIX》。教室にてプリントを配布。

### フランス語 II 教授 目黒士門

A組(木曜日) 用書 ポームルー・丸山圭三郎編『トリスタンとイゾー』(朝日出版社) ¥640-

B組(火曜日) 用書 大塚幸男編『コペ短篇集: 三つの恋の物語』(第三書房) ¥400-

### フランス語 II 非常勤講師 西 昌樹 (北海道大学講師)

B組(木曜日) 用書 MAUGFR, 朝倉季雄編“CONTES ET RECITS”(TEXTES EN FRANCAIS FACILE) (駿河台出版社) ¥650-

### フランス語 II 外国人講師 Bernadette WALBERER

A組(火曜日) 視聴覚教材: 《CREDIF DE VIVE VOIX》。教室にてプリントを配布。

### 中国語 I 教授 川上久壽

テキスト

漢語初歩 増補版

北京語言学院・中国建設杂志社合編

香坂順一編

光生館

### 中国語 II 教授 川上久壽

テキスト

I. 中国語基礎会話

長谷川寛・上野直明共著

開拓社



## Ⅱ. 選読現代中文

加賀美嘉富編注

駿河台出版社

## スペイン語Ⅰ

講師 寺崎英樹

初等文法全般と基本的な構文を学習する。

テキスト：佐藤玖美子『何を話しましょうか』（芸林書房）

辞書：一般的な西和辞典としては次のものが出ている。

1. 高橋正武『西和辞典』（白水社）
2. 高橋正武『西和小辞典』（白水社）
3. 大学書林編『絵入スペイン語辞典』（大学書林）

価格と内容の比から言えば，1.が最良である。

## スペイン語Ⅱ

講師 寺崎英樹

スペイン語の文章に慣れることを主眼とし，前半は文法知識の復習，後半は内容の理解とスペイン語による表現にも重点をおく。

テキスト：中岡省治編『ファウスト』（白水社）

J. J. L. ソペニヤ，小林一宏『スペイン一世紀から世紀へー』

（芸林書房）

## ロシア語Ⅰ

教授 松本忠司

テキスト

東郷正延著 ロシア語教科書Ⅰ（初級編） 現代ロシア語社

〃 ロシア語教科書Ⅱ（中級編） 〃

教科書Ⅱ（中級編）は，ロシア語Ⅰの後期後半からロシア語Ⅱの前期にかけて継続使用する。

## ロシア語Ⅱ

教授 松本忠司

テキスト

前期は，ロシア語教科書Ⅱ（中級編）を，昨年度の後期後半にひきつづき

使用する。

後期は，「チェーホフ短編集」を予定している。入荷は六月ごろになる見とおし。

辞書

岩波または博友社発行の露和辞典をすすめる。

### 3 保健体育科目

#### 体育実技 I・II

教授 杉山 登  
教授 藤江 正  
非常勤講師 中川 平悟  
(小樽商業高校教諭)

#### I 体育実技の履修について

体育実技は必須科目であり、各自所定の時間に出席しなければならない。本学では1年目で毎週2時間(60時間)、2年目は前期・後期各2時間(30時間)を選択履修することになっている。

体育実技実施種目は、必修種目と選択種目とからなり、必修種目としては、1年目は水泳、スキー、トレーニング法の実際を行なう。2年目は水泳、スキーのいずれかを選択必修するものとする。また、選択種目としては下記のⅢにあげた5種目中より、1年目は1年間に1種目を選択履修し、2年目は1種目を前・後期いずれかで選択履修するものとする。

#### II 必修実技種目とその内容

##### (1) 体力測定

体力診断テスト……反復横とび、垂直とび、背筋力、握力、伏臥上体そらし、立位体前屈、踏み台昇降

運動能力テスト……50m走、ハンドボール投げ、懸垂腕屈伸、持久走(または強歩)

以上の種目であるが、全種目実施が望ましいが、都合により7~9種目程度になることもある。測定実施時期については、第1回目は4月下旬~5月上旬、第2回目が10月下旬~11月上旬である。体力の優劣判定は、文部省体育局のテスト判定基準により、総合点によってA・B・C・D・Eに区分されるが自己の体力の現状を把握しておくことが肝要である。

##### (2) トレーニング

トレーニング法とその実際について知っておくことは、学生生活および社会生活を営むうえで体力の維持増進をはかる場合に極めて大切なことである。4月~5月の期間を体力づくりのための一般的トレーニング法、器具器材使用法、トレーニング処方等について実習し、授業時間外でも自分

で処方し、自発的に継続実施できるようにもってゆきたい。なお、体力の劣る者(体力診断テストの結果、D・E級の者)については、5月以降も継続指導してゆきたい。

#### (3) 水泳

自己安全管理の一環として、水からの事故防止のため水泳技術を修得しておくことは極めて大切なことである。1・2年を通して指導段階の区分として都合上、3班に分け各班ごとに下記の内容で実施する。技術修得の過程で班を移動する者もある。実施時期等については、6月中旬~7月上旬にかけて3週間(6時間)と夏季休暇後1週間(2時間)で実施するが、詳しい日時はおって掲示等により通知する。

#### 水泳実技内容

区分	実技種目	テスト種目(泳法・距離泳)
初級	・立ち方・背浮・立ちとび込み ・伏し浮・簡易泳法	人工呼吸法 ・背浮・伏し浮からの立ち方……泳法 ・簡易泳法で10m以上……距離泳
中級	・クロール・平泳 ・背泳・バタフライ ・逆飛び込み・潜行	人工呼吸法 救助法 ・泳法3種選択……泳法 ・1種目で25m以上……距離泳
上級	・クロール・平泳 ・背泳・バタフライ ・横泳・立泳	人工呼吸法 救助法 ・泳法5種選択……泳法 ・1種目で50m以上……距離泳

#### (4) スキー

室内に閉じこもり勝ちな雪国の生活において、自然に親しみながらスキー技術を習得することは、冬季体育の一環として、また将来の社会生活をたのしく健康的なものとするためにも極めて有意義である。1・2年を通して指導段階の区分として都合上、3班に分け各班ごとに下記の内容で実施する。実施時期等については、1月中旬~2月上旬にかけて4週間(8時間)実施するが、詳しい日時については、おって掲示等により通知する。

#### スキー実技内容

区分	実技種目	テスト種目
初級	・歩行・滑走法・方向変換 ・転倒法・登行法・直滑降 ・プルーク・ボーゲン	・プルーク・ボーゲン ・シュテム・ターン
中級	・上記種目 ・パラレル・ターン	・シュテム・ターン ・パラレル・ターン
上級	・上記中級種目・ゲレンデシュ プルンク ・ウェーデルン	・パラレル・ターン ・ウェーデルン

### Ⅲ 選択実技種目とその内容

バレーボール（前期）、バスケット・ボール（後期）、羽球、卓球、ソフトボールの5種目である。前期（5月～9月）、後期（10月～12月）の2期で異なった種目を1種目各々選択履修する。なお、人員等の関係で選択種目の変更をさせることもありうる。また、雨天の場合には体育館内で実施可能な種目に限定される。

### Ⅳ 必須実技種目理論

必須実技種目については各々一講分の講義をするが、その内容・日時に関しては下記の通りである。

#### ◆トレーニング基礎理論

教授 藤江 正

- |              |                                     |
|--------------|-------------------------------------|
| 1. 現代人と体力    | 4. トレーニングの種類と方法                     |
| 2. トレーニングの意味 | 5. トレーニングの処方                        |
| 3. トレーニングの原則 | 〈注〉この講義は5月上旬にする予定であるが、おって掲示により通知する。 |

#### ◆水泳基礎理論

教授 杉山 登

- |               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 1. 水泳の社会的背景   | 4. 基本的泳法                            |
| 2. 水泳の基本的技術要因 | 5. 水泳と安全                            |
| 3. 競泳の技術的要因   | 〈注〉この講義は6月中旬にする予定であるが、おって掲示により通知する。 |

#### ◆スキー基礎理論

教授 藤江 正

1. スキーを理解するために
2. スキーの安全管理
3. スキー技術の習得にあたって
4. スキー傷害の予防

〈注〉この講義は11月下旬にする予定であるが、おって掲示等により通知する。

#### 体育講義

教授 森岡 知一

健康と疾病の関係を病原、人体、環境の相互関係の中でとらえ、健康保持と公衆衛生の諸問題を考察する。と同時に、保健活動の歴史を通覧し国民保健の動向を考える。伝染病流行の要因とその予防に関する知識を増大させ、また非伝染性疾患とくに成人病に対する対策をも勉強する。そのほか、衣・食・住に関する問題、環境の保全、などについて考え、人口問題、母子保健、身体発育と精神衛生、勤労と保健（産業衛生）、社会福祉及び社会保障と公衆衛生の現状についても言及する。

## 4 基礎教育科目

### 経済学概論

(前期) 教授 望月喜市

(後期) 教授 早見弘

下記をテキストとして、経済社会の中心的な諸問題についての、分析方法を講義する。前期は基礎的諸概念ならびに国民所得理論の主要内容(第1部、第2部)を、後期では価格理論の主要内容(第3部、第4部)を取扱う。

なお、若干のゼミナールでは経済学概論の履修を、応募ならびに所属の条件としているので、念のため付記しておく。

テキスト: Paul A. Samuelson, *Economics* (Mc Graw-Hill

Kogakusha, Ltd., 9th ed., 1973)

[都留重人訳『経済学』(上・下)(岩波書店, 第9版, 1974)]

参考文献: G. スティグラー内田・宮下訳『価格の理論』(上・下)

(有斐閣, 第3版, 1975)

C. E. フェーグソン 木村訳『微視的経済理論』(上・下)

(日本評論社, 1968)。

小泉 進・建元正弘『所得分析』(岩波書店, 1972)

### 商学概論(前期)

教授 伊藤森右衛門

第1講 序 —「商」の念と商学—

第2講 経済発展段階と商業の成立

第3講 流通組織と経営形態

第1講では、社会科学としての商学を吟味し、その方法と課題について明らかにする。第2講では、商業の発生史論的考察を行い、商業思想の歴史的展開を説述する。そして第3講では、大量生産を基軸とする流通組織の史的展開と、商業経営形態の特質について述べ、さらに現代商業の課題について考える。

註、参考文献は、その都度示す。

### 商学概論(後期)

教授 山下隆弘

本年度は、商業学の基礎概念を中心に展開する。講義項目として次のものを用意している。

- 1 商業学の対象と問題
- 2 取引及び交換の理論
  - ① 経済学的交換及び取引の概念
  - ② 社会学的交換及び取引の概念
- 3 市場論
  - ① 小売市場
  - ② 卸売市場(産業財市場を含む)
  - ③ 市場及び取引所市場
- 4 流通システム論

教科書及び参考文献は講義時間に随時指摘する。

### 数

### 学

助教授 白川寛

#### 数学 A

微積分の講義と演習をします。教科書「数学概論1, 鍋谷清治・大成節夫著 数学基本講座・1 春秋社 223ページ」。今年の目標は、微分方程式と差分方程式の解法とします。以下、目次紹介。

Ⅲ. 関数 Ⅳ. 微分 Ⅴ. 積分 Ⅵ. 微分方程式 Ⅶ. 差分と和分

なお、Ⅰ, Ⅱ, Ⅷは、略します。演習を、かなりやりますので、必ず出席して提出のこと。評価の際、考慮します。偏微分、重積分を学ぼうとするときは、「数学概論2, 鍋谷清治・大成節夫著 数学基本講座2, 春秋社」を読むと、よいでしょう。

#### 数学 B

本年は、「百万人の数学(上) ホグベン著 今野武雄訳 筑摩叢書148 筑摩書房 343ページ」を、読みます。以下、目次紹介。

- 1章 数学は文明の鏡
- 2章 測定の第一歩……先史時代の数学……
- 3章 大きさと数の文法……数ことばの訳しかた……
- 4章 涙なしに学べるユークリッド……幾何学の効用……

5章 危機からクロスワードパズル……算術のはじまり……

6章 地球の大きさ……三角法の効用……

7章 無の曙……代数のはじまり……

初等数学(中学・高校レベル)が、どのようにつくられてきたかを、歴史的に述べています。練習問題が、150ほどのっていますので、毎週すこしずつ、解いて行きます。その結果は、必ず提出のこと。評価の際、考慮します。なお、数学Aとの比較に公平を期すために、B履習者の評点は、多少きびしくします。

参考 百万人の数学(下) ホグベン著 今野訳 筑摩書房

### 管理科学概論

(前期) 助教授 若林 信夫

(後期) 助教授 沼田 久

この講義の目的の1つは、学生諸君に管理科学科についての正しいイメージを抱いてもらうことである。

前期:主として管理科学とは何か、意思決定理論、線形計画法、アクティビティアナリシス、シミュレーションを講義する。

後期:管理科学のなかの大きな分野としてのオペレーションズ・リサーチについて、その簡単な歴史、考え方などを述べ、ネットワーク理論、動的計画法、待ち行列論、ゲームの理論、信頼性理論、探索理論などについて概説する。

参考文献:必要に応じて講義中に指示する。

## 5 専門教育科目

### 統計学

講師 遠藤 薫

講義内容

- 1 度数分布の分析
- 2 関係の分析
- 3 時系列の分析
- 4 確率と確率分布
- 5 標本理論
- 6 推定の理論
- 7 検定の理論
- 8 予測と決定

テキスト

森田優三著『新統計概論』(日本評論社)

参考書

森田優三・久次智雄著『演習統計概論』(日本評論社)

### 数理統計学

教授 久次智雄

講義内容

1. 検定論入門
2. 線形代数(補論)
3. 確率変数と確率分布
4. 多変数正規分布
5. 標本分布
6. 分散分析・回帰分析
7. 推定論の基礎
8. 検定論の基礎
9. ベイズ的推論
10. 多変量解析

テキスト

(1) 森田優三著『新統計概論』8章~9章(日本評論社)

(2) 岩田暁一著『経済分析のための統計的方法』(東洋経済新報社)

参考書

(3) 森田優三著『統計数理入門』(日本評論社)

(4) 河田敬義・丸山文行・鍋谷清治著『大学演習数理統計』(裳華房)

その他

1. 「統計学」, 「数学」, 「応用数学(代数)」, 「計算機論 I」はすでに履修済みであるものとして講義を進めます。たとえば次の事柄については履修済みであることが必要です。

統計学の初等的知識, 線形代数(逆行列, ベクトル空間, 固有値問題など), 解析学(無限級数, 偏微分・重積分の初歩など), FORTRAN プログラミング

2. 遅刻・欠席等をすると, 事後の講義が理解困難になることの多い点に留意して下さい。

3. 講義時間内では演習が十分にできませんから, 各自が問題演習をしておかねばなりません。

## 経済統計学

教授 長谷部 亮 一

講義内容

1. 国民所得統計の現状
2. 国民所得統計の周辺
3. 国民所得の成長
4. 国民所得の変動

参考書

講義中に指示する。

## 経済原論 I (前期)

教授 増井 幸 夫

社会経済の生理と病理とが区別でき, 経済学からの独自の処方語れるようマイクロ経済学のコモンセンスを学びとるのが目的。テキストの演習問題を毎回宿題として課すつもりです。

テキスト: G.S.ベッカー『経済理論—人間行動へのシカゴ・アプローチ』, 宮沢・清水訳, 東洋経済, 1976

参考書: G.J. スティグラー『価格理論』, 内田・宮下訳, 有斐閣, J.R. ヒックス『価値と資本』, 安井・熊谷訳, 岩波, etc., G.J. スティグラー『産業組織論』, 神谷, 余語訳, 東洋経済新報。

## 経済原論 I (後期)

教授 藤井 栄 一

## 経済変動論

教授 増井 幸 夫

ケインジアンのとそれらと区別された貨幣経済のマクロ動学分析をとりあげ, 貨幣的景気循環論を検討する。

参考書: G. ハーバラー『景気変動論』上・下, 松本他訳, 東洋経済 1971 M. R. Darby, *Macro-economics*, McGraw-Hill, J. M. ケインズ『貨幣論』および『一般理論』, A. Leijonhufvud, *On Keynesian Economics and the Economics of Keynes*, Oxford U. P., J. Stein (ed.) *Monetarism*, North-Holland. M. Friedman, *Theoretical Framework for Monetary Analysis*, H. Johnson, *Essays in Monetary Economics*, G. Allen, J. R. ヒックス『景気循環論』岩波, Gordon and Klein (eds.) *Readings in Business Cycles*, Irwin, その他雑誌論文。

## 経済学史

講師 野澤 敏 治

昨年度の講義はドイツ歴史学派とマルクス経済学をのこしたままで終えた。時間が限られていること以上に, 講義構成に問題があったためとおもう。リストにおける歴史の問題は, リカード経済理論がもつ歴史性を把握することなしにはテーマになりえない。また, ブルジョア社会を根底から覆えそうとするマルクスは, 古典経済学に内在することをうじて現代のわれわれに生きてくる。以下, 二年にわたって, 初めの意図を果たしたい。

## 序 経済学史の課題

- 1 重商主義の本質——J・スチュアートと本源的蓄積
- 2 フランス古典経済学——F・ケネーとフランス革命
- 3 イギリス古典経済学の成立——A・スミスとアメリカ独立革命

(以上, 本年)

(以下, 来年)

## はじめに

- 4 イギリス古典経済学の完成——D・リカードの体制認識
- 5 マルクスにおける経済理論と歴史理論

参考書や、個々の論点にたいして切りこんでいる人の仕事は、講義のなかで紹介する。

## 経済原論Ⅱ

非常勤講師 安井修二

(小樽商科大学短期大学部助教授)

マルクス経済学について講義します。

マルクス経済学の特徴は、その体系性(Ⅰ資本主義の一般的原理としての『資本論』体系, Ⅱ資本主義の歴史的発展段階の理論としての『帝国主義論』体系, Ⅲ現代資本主義論としての国独資論)にあるので、体系全体について講義しなければならないのですが、一年間では全部話すことができないので、毎年どこかに重点をおいて話しています。今年は、『資本論』体系のうち特に価値論にかなりの時間をあてる予定でいます。

テキストは使用しません。また、参考文献は講義のなかでその都度指示することにします。

## 計量経済学

講師 遠藤 薫

### 講義内容

- 1 経済モデルとデータ
- 2 線形回帰モデル
- 3 同時方程式モデル

### 参考書

J. ジョンストン『計量経済学の方法, 全訂版』

## 経済史概論

助教授 井上 巽

本年度は、従来の講義体系に大幅な変更を加えて、イギリス資本主義発達史を中心に講義を進めます。経済史概論としてはやや特殊なテーマとなりますが、講義のなかでは、フランス・ドイツ・アメリカさらに日本などの史実にも論及するつもりです。

講義内容は以下のような編成を予定しています。

- Ⅰ 序論
- Ⅱ イギリス資本主義成立史論
- Ⅲ イギリス市民革命論
- Ⅳ イギリス重商主義論
- Ⅴ イギリス産業革命論
- Ⅵ 展望

テキストは使用しません。参考文献はそのつど指示しますが、さしあたり包括的な参考文献として、大塚久雄・高橋幸八郎・松田智雄編『西洋経済史講座』Ⅰ～Ⅳ(岩波書店)、大塚久雄編『西洋経済史』(筑摩書房)、吉岡昭彦編著『イギリス資本主義の確立』(御茶の水書房)をあげておきます。

## 日本経済史

助教授 長谷川 伸三

本年は日本資本主義の発展過程のうち、原始的蓄積期(幕末・明治前期)と産業資本確立期(明治後期)に重点を置いて講義する。テキストを使用するが、講義ではテキストに書いてないことをも大いに論じる予定である。日本資本主義の特質を経済的側面に限らず、政治的・社会的側面からも歴史的に把握できれば、ほぼ目的は達せられるといえよう。なお前期はレポートの提出を求め、後期は筆答試験を行なう予定。

テキストの内容を紹介すれば次の通りである。

石井寛治著『日本経済史』東大出版会, 1976年刊, 1500円。

第1章 幕藩制社会の特質, 第2章 原始的蓄積の日本型——明治維新変革の基礎過程, 第3章 日本資本主義の確立——帝国主義への同時転化, 第4章 戦前日本帝国主義の展開。

参考文献として主要なものをあげておく。

山田盛太郎著『日本資本主義分析』岩波書店。楫西光速他著『日本資

本主義の成立』全2巻・『日本資本主義の発展』全3巻，東大出版会。  
大石嘉一郎編『日本産業革命の研究』上・下，東大出版会。岩波講座『  
日本歴史』新版，近世5・近代1～4，岩波書店。安藤良雄編『近代日  
本経済史要覧』東大出版会。

## 経済政策

教授 望月喜市

講義内容：本年度は，従来の「経済政策一般原理」的なものではなく，価  
格政策をめぐる諸問題を集中的にとりあげる。現在の予定はつぎのとおり。

- I インフレーションの理論とその対策
- II 寡占価格と産業政策
- III 公共料金問題
- IV 最適計画と価格

参考文献，講義の方法については，講義の最初の時間，および必要に応じ  
てその都度指示する。

## 農業経済学

非常勤講師 崎浦誠治  
(北海道大学農学部教授)

わが国農業の展開過程を中心として，一般に経済成長に伴って起る農業  
の変化を生産物，生産要因の需給，価格，流通組織にそくして捉えると共に，  
市場機構が資源配分，所得分配に対して不十分にしかはたらかないことから  
来る問題と，それに対応する農業への公共政策について論ずる。本年度はと  
くに農業制度の分析や農業成長におけるインフラストラクチャの役割を盛り  
こんだ。

- 第1章 農業経済学の課題と方法
- 第2章 経済成長と農業
- 第3章 農業・工業の二部門モデル
- 第4章 農業成長と農業制度
- 第5章 農業成長とインフラストラクチャ
- 第6章 農業の技術進歩と農業成長
- 第7章 農産物需給と農産物価格
- 第8章 農産物市場構造の変化(附アグリビジネス)

- 第9章 農業の所得分配
- 第10章 農業に対する公共政策
- 第11章 農産物の国際貿易
- 第12章 現代社会と農業

## 社会政策

教授 吉武清彦

- I 社会政策史
- II 社会政策と労働経済学
- III 社会政策各論

### 文献

大河内一男『社会政策』(総論・各論計2冊)有斐閣  
隅谷三喜男『労働経済論』(筑摩書房)  
隅谷三喜男『労働経済論』(日本評論社)

## 財政学

教授 早見弘

- 1 政府の経済的役割
- 2 公共財の理論
- 3 外部効果の調整
- 4 集合的意志決定と投票方式
- 5 租税の規範理論
  - (1) 租税原則論
  - (2) 経済循環と租税の分類
- 6 租税の理論と実際
  - (1) 所得税と法人税
  - (2) 物品税と付加価値税
  - (3) 資産課税
- 7 租税の実証理論
  - (1) 租税の資源配分効果
  - (2) 租税の所得分配効果——ハーバーガー・モデル

参考文献は講義中に指定する。



## 国際経済論

教授 麻田 四郎

- 1 古典派貿易理論（比較生産費を中心として）
- 2 近代的貿易理論（貿易乗数を中心として）

基本的には昨年度の講義を踏襲しますが、本年度は保護貿易理論にまで議論を拡張しようと思います。現実の諸問題についての解説や批評については例年通り。

（参考書）

麻田・田中編『国際貿易論講義』昭46，青林書院

G.M. マイヤー（麻田・山宮訳）『発展の国際経済学』昭48・ダイヤモンド社

## 貿易政策

教授 麻田 四郎

- 1 両大戦間の世界経済の動き
- 2 戦後世界経済（ブレトン・ウッズ体制）の動き
  - (i) 国際通貨体制
  - (ii) ガット体制
  - (iii) 南北問題

（参考書）「国際経済論」で挙げた参考書を並用します。

聴講者は「国際経済論」履習済みまたは履習中の者であることを望みます。

## 国際金融論

教授 足立 禎

- 1 国際通貨制度とIMF体制
- 2 外国為替の基礎理論
- 3 先物為替の理論と実際
- 4 持高の理論と為替操作
- 5 中央銀行の介入
- 6 金問題
- 7 国際金融市場

教科書

E・ゾーメン「先物為替の理論」足立訳 勁草書房

参考書

E・ゾーメン「屈伸為替相場制度」足立訳 勁草書房  
足立禎著「外国為替市場」全訂版 日経新書

## 金融経済論

講師 釜江 廣志

1. 家計・企業の金融行動
2. 金融仲介機関
3. 金融と経済活動
4. 金融政策

テキスト 館・浜田「金融」（岩波，現代経済学6）

参考文献 鈴木淑夫「現代日本金融論」（東洋経済）

日銀編「わが国の金融制度」（日本信用調査）

なお、テキストの足りない部分，特に制度面，についてもしばしば言及する予定。

## 銀行論（集中講義） （2単位）

非常勤講師 山下 邦男  
（一橋大学商学部 教授）

## マーケティング

非常勤講師 片桐 誠士  
（小樽商科大学短期大学部教授）

序 マーケティング論の課題—対象と方法

1. マーケティングの成立過程と商業
2. マーケティングの成立と展開
3. 現代マーケティングの特質
4. 現代マーケティング戦略の展開
  - (1) 価格戦略

- (2) 製品戦略
- (3) マーケティング・チャネル政策
- (4) プロモーション戦略

参考文献

- 荒川祐吉・森下二次也編著「体系マーケティング・マネジメント」 (千倉書房)
- 片桐一郎他共著「現代マーケティング総論」 (同文館)
- 森下二次也監修「マーケティング経済論」下 (ミネルヴァ書房)
- 田村正紀著「マーケティング行動体系論」 (千倉書房)

販売管理

教授 山下隆弘

当販売管理は、マネジュリアル・マーケティング、マーケティング管理等の言葉で言われているものの内容をさす。そして、それに対してわれわれは、伝統的理論の理解とその批判を出発点として、新しいシステム理論の構築を意図する。それは又、単なる概念的体系を超えて操作性を具備させることをもって特徴とする。主要講義項目は以下の如くである。

- 1. 伝統的理論の概括とその問題点
- 2. オールダーソン理論と志向するシステム論
- 3. 基礎概念とシステムの概念的理解
- 4. マーケティングシステムの予備的描写
- 5. 消費者行動モデル
- 6. 小売店行動モデル
- 7. 中間業者行動モデル及び販売員行動モデル
- 8. 生産者意思決定とマーケティング情報システム

テキスト

山下隆弘著「マーケティング経営システム論」白桃書房

参考文献

- アムスタッツ著、山下隆弘訳「マーケティングの計量モデル」新評論社
- 三浦一著「マーケティング行動システム」中央経済社

商業英語

非常勤講師 北村正司  
(北海道薬科大学教授)

外国貿易の流れを体系的に展開し、貿易実務と英語商業通信文を統一的に講述し、実務に関する基礎的な知識の習得と商業英語の読解力および表現力の養成をはかりたい。

- 1. 英語商業通信文の構成と形式
- 2. 取引関係の樹立
- 3. 売買契約の成立
- 4. 売買契約の履行
- 5. 電報とテレックス

また商業英語の活用に必要な英文法の感覚を養いたい。

テキスト

中村新吾著 新訂模範貿易英語 (東洋経済新報社)

証券市場論

助教授 石原定和

● 戦前における証券市場論は、一口でいえば株式取引所論であり、商業学の一部門として、商品・証券の両取引所を含めて体系づけられていた。これは、戦前の財閥が封鎖的な資金の調達方法を用いたため、公開された証券市場では企業の資金調達という機能よりも、むしろ投機取引という商品売買に共通した面だけが利用されていた事実の反映である。

戦後になると、財閥解体によって産業界は株式市場の本来の機能たる資金調達の役割を必要としだし、株式市場の育成に乗り出すが、いかんせん発行市場の未発達などの理由により、銀行貸付に偏った間接金融方式が優先した。

高度成長段階の末期になり、やっと株式市場は資金調達面で本来の役割を果たすようになった。しかし、その底の浅さは、山一証券恐慌の姿をとって暴露された(救済措置として日銀法第25条の発動)。

昭和40年以降の安定成長より長期不況への過程で、国債発行が周知の事実となり、以後国債管理政策が確立されねばならない段階に入っている。

以上のような事情を反映して、証券市場論も取引所の中だけでなく、一方では企業の資金調達面や他方では金融市場との広い関連の中で取扱われねばならなくなった。

本年の講義においては、金融市場の一部としての証券市場を、歴史的・論理的に概説する。

#### ◎ 参考文献

- 中村孝俊『日本の証券市場』（岩波新書）  
〃 『高度成長と金融・証券』（〃）  
伊早田敏充その他共著『証券経済論』（有斐閣双書）  
川合一郎編『日本証券市場の構造分析』（有斐閣）  
中村・川合・木村・加藤共編『証券経済講座』全5巻（東洋経済新報社）

### 証券金融論

教授 鈴木 満 直

金融市場は貨幣市場および資本市場よりなる。国際金融の理解なくして国内金融を理解することはできない。それゆえ、前半において、国際金融と国内金融の関連、国内金融の順に、理論、組織などを講義し、後半において、わが国の現状に即して、これらのフィールドに内在する諸問題点を指摘し、整理、解明する。

参考文献 拙著『ポートフォリオ理論と資本市場の機能』勁草書房5月頃出版予定。

### 経営学原理（前期）

助教授 篠崎 恒 夫

#### I 本科目の目的

本科目は、現代企業経営の運動法則を客観的に解明することを目的とする。したがって、いかに企業を経営するかというハウトゥの伝授は、本科目の直接の目的とはならない。本講義では、経営を資本運動として捉え、資本運動がいかにしてその直面する問題を解決するために「理論」を必要とするかを明らかにする。

#### II 本科目の位置づけ

本科目を学ぶ際の手がかりとして、また他の諸科目との関連を示す意味で、すでに履修していることが望ましいが、または併行して履修を望む科目を挙げれば、つぎの通りである。

社会科学概論、社会思想史、哲学、自然科学概論、商学概論、管理科学概論、経済学史、経済原論、経営史

### III 講義内容

- 1 社会科学の認識と経営学
- 2 経営学教育と方法論争
- 3 経営管理論の展開
- 4 企業形態の展開
- 5 経営者論
- 6 人間関係論
- 7 意思決定論
- 8 企業の社会化

### IV 参考書

年度頭初、参考書についての説明をする予定であるが、概説的なものを含めて主なものを掲げておく。

馬場克三著「経営経済学」税務経理協会、昭和41年  
経営学研究グループ著「新版経営学」

浅野敏著「個別資本理論の研究」ミネルヴァ書房、昭和49年  
宮川良弘編著「経営管理基礎論」日本評論社、近刊予定

### V 単位認定方法

レポートの提出と筆記試験とのいずれも必要である。

### 経営史（後期）

講師 辻 原 悟

本講義は経営史学といわれる学問の成立・展開、その史学の系譜的関連を明らかにしたうえで、具体的な経営史の内容に入りたい。その際、アメリカにおけるいわゆる「平均的アメリカ人」（ミドル・クラス）に属する人々の企業に対するイメージと企業行動の変化、及びその逆の関連について、19世紀後半から20世紀前半にかけて述べてみたいと考えている。

#### 講義内容（予定）

1. 経営史学の成立
2. 経営史学の系譜
3. 企業行動とミドル・クラスのイメージの変化

#### 参考書

○ A. H. Cole, Business Enterprise in its Social Setting, 1959, 中川敬一郎訳、『経営と社会——企業者史学序説——』ダイヤモンド社

○H. G. J. Aitken (ed.) Explorations in Enterprise, 1965

この二冊の本は、経営史を解明する上で示唆的な本と思われる。

○大塚久雄、『社会科学の方法』，岩波新書

この本は手頃で良い本と思われる。

その他は講義中に指摘する。

## 経営学説史

非常勤講師 海道ノブチカ

(小樽商科大学短期大学部講師)

ドイツ経営学説史について講義する。

1. 商科大学の設立と私経済学の生成
2. 第1次大戦後における経営経済学の展開
3. 第2次大戦後における経営経済学の発展

## 労務管理

教授 伊藤森右衛門

第1講 序 —「労務」と「管理」の概念規定—

第2講 労務管理の史的展開  
—「管理法」の展開と労務管理—

第3講 現代企業と労務管理  
—「経営理念」としての労務管理—

第4講 経営管理と労務管理  
—「制度」としての労務管理—

第5講 労務管理と人間関係  
—「職場社会」としての労務管理—

第6講 労務管理と賃金管理  
—「職務と誘因」としての労務管理—

第7講 労務管理と経営参加  
—「労使関係」としての労務管理—

第8講 日本的経営と労務管理  
—「国際比較」としての労務管理—

## 生産管理

助教授 中橋国蔵

### A 講義内容

まず総論として、経営管理学における生産管理論の位置づけを行なう。

そのあとで、各論として、生産管理の諸問題のうち、少数の短期的決定問題に焦点を絞って講義する。意思決定論やシステム論が問題分析の中核におかれる。今年度は総論部分に比較的多くの時間をあてる予定である。

#### 1. 総論

- (1) 生産管理概念
- (2) 意思決定論
- (3) システム論
- (4) 経営学と管理技術

#### 2. 総合生産計画

#### 3. 在庫管理

#### 4. 日程計画

#### 5. 販売予測

### B テキスト

特に指定しない。第1回目の講義において、本講義に関連する種々の文献をあげ、その解説を行なうので、各自の興味にしたがって選択すればよい。

### C 主要参考書

占部都美著『改訂経営管理論』白桃書房，昭50

同 『企業の意味決定論』白桃書房，昭44

北原貞輔著『現代経営システム論』新評論，昭51

市橋英世・北原貞輔著『生産管理システム』税務経理協会，昭45

村松林太郎著『生産管理の基礎』国元書房，昭45

大須賀政夫・河村良吉著『生産管理論』丸善，昭46

占部都美編著『コンピューター活用ハンドブック』中央経済社，昭51

その他の総論的文献については第1回目の講義において言及する。

各論のそれぞれについての文献は、その都度指示する。

### D 注意

講義に遅刻したり休んだりする者は、単位を取得するのが困難になると思われる。受講希望者はこのことを十分に留意して履習届を出してほしい。

## 財務管理

非常勤講師 佐賀卓雄  
(小樽商科大学短期大学部講師)

資本の調達と運用の最適同時決定を志向する規範論的財務論の内容を中心に講義をすすめる。講義の一つの特徴は、こうした規範論的最適決定論のフレームワークと現実の企業の財務行動とのバイアスに注目するところにある。講義編成は次のようになる予定である。

序論 株式会社の金融構造と財務管理論

1. 資本調達論
2. 資本予算論
3. 資本構成と資本コスト
4. 運転資本の管理
5. 配当政策と株価形成
6. 財務比率分析
7. わが国主要企業の財務行動分析—とくに資本構成問題に関連して—
8. 企業合併の財務問題
9. 財務管理論と企業目的規定

テキスト：とくに指定しない。

参考文献：現実の企業の財務行動を知るためには、最近の企業財務に関する数字が基礎的資料となるが、必要なものはコピーの形で配布する。規範論的財務論の文献は多数にのぼるが、以下にあげるのは講義内容に比較的近いものである。

- (1) 高橋昭三著「経営財務論」森山書店
- (2) 丹波康太郎編「財務管理概論」有斐閣双書
- (3) 後藤幸男・森昭夫編「経営財務」有斐閣双書
- (4) J. F. ウェストン・B. F. プリッガム「経営財務」Ⅰ, Ⅱ 東京大学出版会

上記以外の参考書はその都度紹介する。

## 簿記学

(A) 非常勤講師 田中良三  
(小樽商科大学短期大学部助教授)  
(B) 講師 中善宏

- (1) クラス編成

クラスはA, B二つに分ける。各学年とも学生番号140番まではAクラス, 141番以降はBクラスとする。各クラスとも授業は同一步調で進めるよう配慮する。

### (2) 授業内容

授業は複式簿記の原理を十分に理解してもらうことを目標に進める。主な内容は次のとおりである。

§1 簿記原理 §2 取引記帳 §3 決算記帳 §4 会社会計 §5 特殊問題

### (3) テキスト

高松和男, 「簿記通論」(実教出版)

### (4) 参考書

片野一郎, 「簿記の手ほどき」(同文館)。片野一郎, 「新稿簿記精説」(同文館)。井上達雄, 「例解会計簿記精義」, (白桃書房)。泉谷勝美, 「簿記学概論」(森山書店)。山榎忠恕, 「複式簿記通論」(中央経済社)。山榎・飯野・染谷共編「簿記原理」・「上級簿記」(有斐閣)。戸田義郎, 「簿記」(評論社)。黒沢清, 「改訂簿記原理」(森山書店)。阪本安一, 「改訂簿記詳説」(国元書房)。沼田嘉穂, 「簿記教科書(九訂版)」(同文館)。沼田嘉穂, 「新体系簿記会計問題精説」(中央経済社)。横浜市立大学会計学研究室編, 「大学簿記演習」(同文館)。

## 会計学

教授 久野光朗

最初の授業でガイダンスを行ない、参考書の紹介などもいたしますが、授業内容を大別すれば次のとおりです。

- §1 総論
- §2 測定論  
収益  
費用  
資産  
負債  
資本
- §3 伝達論
- §4 各論

テキスト：

- 太田・飯野, 『会計学』 (千倉書房, 1976)
- 参考書——現在入手可能な標準的参考書:
- 黒沢 清, 『近代会計学』 (春秋社)
- 山下勝治, 『会计学一般理論』 (中央経済社)
- 青柳文司, 『会计学の原理』 (中央経済社)
- 黒沢 清 (主編), 『近代会計学大系』 第1巻~第5巻, 第10巻  
(中央経済社)
- 神戸大学会計学研究室編, 『会计学辞典』 (同文館)

監 査 論 (集中講義) 非常勤講師 三 沢 一  
(2単位) (成蹊大学経済学部教授)

原 価 計 算 講 師 中 善 宏

下記のテキストを用いて講義する。受講者は、簿記学を履修したものであること。

テキスト

溝口一雄 例解原価計算 中央経済社

参考図書

溝口一雄 例解工業簿記 中央経済社

費用管理論 中央経済社

小川 洵 原価計算精説 同文館

岡本 清 米国標準原価計算発達史 白桃書房

小林清雄 原価管理 森山書店

外国書講読(英語) (前期) 非常勤講師 渡 辺 和 夫  
(小樽商科大学短期大学部講師)

テキスト:

Reed K. Storey, The Search for Accounting Principles, American Institute of Certified Public Accountants, 1964.

本書の内容は、1930年代はじめから60年代はじめにかけてのアメリカにおける会計原則研究の経緯を歴史的に叙述したものである。ストーレイによれば、この約30年間にわたる歴史のうちで会計原則に特に強い関心をもたれた時期が3度あるといわれている。第1期は34,5年を中心にかなり幅広い時期であり、会計原則がはじめて議論の対象になった時代である。そのきっかけとなったのはアメリカ会計士協会(今日のアメリカ公認会計士協会)とニューヨーク株式取引所との協力による特別委員会報告であったといわれている。第2期は第二次世界大戦後から50年代のはじめにかけての時期である。会計学会による48年版会計基準や会計士協会による数多くの会計研究公報がこの時期に公表されている。会計原則への関心は物価水準変動会計に対する関心の増大とともに次第にうすれていった。それが再び注目を集めるようになった第3期は、57年から60年代のはじめにかけてである。スパチュックによる会計裁判所の提唱、公認会計士協会による基礎的会計研究の必要性の強調、および会計学会による57年版会計基準の公表などがその契機になったといわれている。

この科目を履修しようとする者は、以上のようなテキストの内容に興味をもっていることが望ましい。テキストはコピーして配布する。

参考書:

中島省吾訳編, 増訂 A. A. A. 会計原則, 中央経済社。

中島省吾著, 新版会計基準の理論, 森山書店。

藤田友治著, アメリカ会計原則論, 中央経済社。

コーラー著, 染谷恭次郎訳, 会计学辞典, 丸善。

村瀬玄・中島省吾共著, 英和・和英会計用語辞典, 中央経済社。

神戸大学会計学研究室編, 第三版会计学辞典, 同文館。

## 外国書講読 (英語)

非常勤講師 佐々 菫  
(小樽商科大学短期大学部講師)

John C. Narver and Ronald Savitt (ed.), *Conceptual Readings in the Marketing Economy*, Holt, Rinehart and Winston, Inc., 1971. を講読する。なお、本書は論文集であり、必ずしも通読の必要はない。それ故、講義ではいくつかの論文を適宜選択して読みすすめていくことにする。

テキストは、コピーして配賦する。

## 管理科学 I

助教授 若林 信夫

管理科学の最近の話題を基礎的に講読・演習する。出典資料は *Econometrica*, *Management Science*, *Operations Research*, *Operational Research Quarterly*, *Omega*, *SIAM Review*, オペレーションズリサーチなどに及ぶ。OR/MS の御三家が「LP」「PERT」「Simulation」から「MP」「Q」「Simulation+OB」に移行した。これらの論理的基礎を上記の雑誌から月一篇の割で固める。まずは、巡回セールスマン問題 (Little ら) から。

副読本：根岸隆編「経済学 1 価格の理論」(有斐閣)「社会科学への招待」(日本評論社)。

## 管理科学特講 I・IV

非常勤講師 浅利 英吉  
(東海大学工学部札幌教養部助教授)

管理科学特講 I・IV は、現代の数理的経営管理に用いられるオペレーションズ・リサーチ (OR) など経営科学あるいは数理科学とよばれている数学手法からいくつかを選び、その基礎理論と実際について講義するものである。特に OR は近年盛んになったシステム工学 (SE) の基幹をなすものとされており、自然科学、人文科学を問わず広く利用されている境界領域の学問であり、技術である。これは確率論、数理統計学を中心に、待合せ、在庫、取替、線形計画法、シミュレーション、ゲーム論、PERT 法、情報理論、実験計画法などの手法を含んでいる。これらは数学における工具あるいは工作機械、調査分析のための測定機器といった役割を果たすもので、たとえば待合せといった名称はその手法の発見の動機となったり、あるいはモデルをなした現象・問題・用途に因んで付けられたものである。そして、あたかも工具

におけるように、その用途や用法にはかなりの融通のきくものであるが、何かまとまった理論体系をなしているわけでもない。したがって、どの手法から学び始めても良いのだが、数理統計学の素養を必要とするものが多いので、その履修の度、一般的な理解の容易さ、社会的な利用度、特殊性などを考えて、この講義にて 4 種の手法を論ずる。すなわち、特講 II・III とあわせて 2 年間で 8 種の手法を学ぶことができよう。なお、この選択に当っては、開講時にまず手法全般について解説した上で、受講生諸君の希望を聴取したい。教科書には、(少々古くなった感はあるが) 収録内容の広さと価格面その他を考慮して、培風館の「オペレーションズ・リサーチ理論と実際」を使用するが、適宜、プリントを作成配布してその欠けたところを補なうものとする。

## 機械化会計

助教授 山田 一生

機械化会計とは、その言葉の通り理解すれば、機械化された会計を意味する。今日的には、EDP 会計と呼ばれる研究領域を包摂するものと言えよう。この研究領域は、1966 年の AAA の「基礎的会計理論」(A Statement of Basic Accounting Theory) の表明以来、伝統的会計理論に対する強烈なインパクトとして認識され、Accounting Information Systems あるいは情報システムとしての会計を指向する「会計情報システム」へと発展されるのである。

このような会計研究に関する学際的アプローチの結果、伝統的企業会計制度としての会計システムは、とくにコンピューター・インパクトおよび情報科学の影響によって、新しく会計情報システムとして展開される。すなわち、会計情報システムは企業の経営管理に関して、(1)事後計算(報告的会計)、(2)現在計算(管理的会計)、(3)事前計算(予測的会計)のそれぞれの情報を提供し、経営意思決定に役立つ情報システムとなる。本講義では、大山政雄編『機械会計論』(1975, 有斐閣)ならびに大山政雄・涌田宏昭責任編集『会計情報ハンドブック』(1974, 同文館)の内容に準拠しながら、具体的な講義内容としては、(1)会計処理におけるコンピューターの位置づけ、(2)会計とコンピューター・プランニング、(3)会計とコンピューター・オペレーション、(4)会計とコンピューターライズド MIS、(5)コンピューター時代の会計として、その体系化をはかる意図をもつが、同時に併行作業として、COBOL

言語による一般会計システム演習を実施することによって、会計情報システムの原理的ならびに実証的研究をはかり、会計情報システムの基本的設計を究明するとともに、さらに機械化会計の諸問題についても論述する。

主要参考文献：大山政雄編『機械会計論』（1975，有斐閣），大山政雄・湊田宏昭責任編集『会計情報ハンドブック』（1974，同文館）。

参考文献：参考文献は多数あるので、講義の中で必要に応じて、その都度紹介する。

## 応用数学（代数）

助教授 沼田 久

経済学、管理科学、統計学等の勉強を進めるために必要な線形代数学を講義する。ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式、凸集合等々の諸概念に慣れること、行列やベクトルを含む演算に慣れること、線形計画問題の解法の初歩に触れること、線形代数が経済学や経営科学にどのように応用されているかを知ることなどである。計算機論Ⅰ、応用数学（解析）とともに管理科学科の学生は必ず履習することが望ましい。

この科目を受講しているうちに、現代の経済学を学ぶには線形代数の素養が不可欠であることを悟るに至るであろう。その意味で、この科目はむしろ、経済学科や商業学科のために開設されているようなものである。

高等学校的な数学の得手、不得手とはあまり関係はない。ただし若干の数学的センス（論理的能力と言ってもよい）または、ある程度の根気のあることが望ましい。当然のことながら、最後まであきらめずに頑張り通す者に好意を寄せたくなるのは人情である。

テキスト：線形数学入門。（入手方法は掲示する）

## 応用数学（解析）

非常勤講師 小林 正 忠  
（専修大学北海道短期大学教授）

差分方程式と微分方程式とを教授する。

講義では、教科書の不備のところをおぎない、問題が解ける実力を養いたい。結果から見れば、受講者と独学（欠席）者との差を明確に区別出来る授業を実施したい。それが私の目標なのである。

教科書 「ORのための基礎数学」3

著者 松田正一，洲之内治男，杉山昌平共著

出版社 丸善株式会社

参考書を求めたい人もあろうが、先づ教科書を十分に勉強してからにした  
い。

## 応用数学（統計Ⅰ）

助教授 清水川 緋紗子

統計学履習済み（森田優三著「新統計概論」第7章まで学習済み）のこと

FÖRTRAN プログラミングを学習済みのこと。

テキスト：P. G. Hoel, Introduction to Mathematical Statistics

4版，1971

WILEY INTERNATIONAL EDITION

## 応用数学特講Ⅰ（前期）

非常勤講師 山口 忠

（北海道大学工学部講師）

次にあげる項目に従って、記号論理の講義をする：

1. 論理の基礎 2. 論理の代数化 3. スワッチング理論 4. 推論

参考書：表だっては使わないが、2，3あげておく。

沢田允茂「考え方の論理」講談社学術文庫 沢田允茂「現代論理学入門」

岩波新書

中谷太郎「論理」新しい数学へのアプローチ 2. 共立出版

## 応用数学特講Ⅱ（後期）

非常勤講師 山口 忠

（北海道大学工学部講師）

物と物のかかわりあい、即ち「関係」を数学的に扱うための1つの道具・方法として、グラフ論をテーマとして取りあげる。大まかに言って次の様な内容になる。

1. 点と線から構成される対象としての無向グラフ

2. 関係代数（順序構造）と有向グラフ

3. 社会学、心理学等から題材を選んでの応用例

参考書：本間龍雄「グラフ理論入門」講談社ブルーバック



O. オア「グラフ理論」河出書房

R. G. パサッカー他「グラフ理論とネットワーク」培風館

## 計 算 機 論 I

助教授 樋 口 透

コンピューターのしくみを理解し、使い方(プログラミング)を学ぶことに主眼をおく。予備知識は殆んど不必要であり、内容の理解も容易であるが、1ステップずつ進んでゆくの、講義に遅刻したり休んだりすると結局分からなくなってしまう。履修届を出す際この点を特に留意されたい。講義を補なう意味で課題を10回程出すので(プログラミング実習を含む)、教科書の予習を含めて、受講者にはかなりの負担となることを承知されたい。成績評価は、

- (1) 出席(ただし、あらかじめ理由書を添えて申し出をすれば特別の配慮をすることがある。)
- (2) レポート(おもにプログラミング実習。独力によるものかどうか厳重にチェックする。提出の遅れたレポートは受け取るが減点する。)
- (3) テスト(講義内容と実習に関して理解力をチェックする。)

の3要件から総合得点を算出して決定されるが、どの1要件についても一定水準に達しないものは不合格とする。ただし(3)については追試を行なうことがある。

内容の主な項目は、

- ・アルゴリズム、・流れ図、・プログラミング言語、・コンピューターのしくみ、・プログラミング技法(数値的問題、非数値的問題)、・データの構造、・プログラミング言語のほん訳。

教科書は、

「コンピューターサイエンス入門」(基礎編・応用編) A. I. フォーサイス  
他(浦昭二訳)培風館

「JIS FORTRAN 入門(上)」森口繁一、東京大学出版会

## 計 算 機 論 II

助教授 戸 島 熙

「計算の理論」について講義する。

参考文献として M. Davis, *Computability & Unsolvability*, McGraw-Hill Book Company, Inc., 1958. がある(邦訳もある)。

## 憲 法

助教授 高 見 勝 利

ことしは、日本国憲法が施行されてから30年目にあたる。そこで、本年度の講義では、戦後のわが国における憲法30年の軌跡をたどりながら、現在われわれ国民がかかえている諸々の憲法問題について考えてみることにしたい。

テキスト：① 宮沢俊義『有斐閣全書 憲法(改訂版)』有斐閣

② 中村・秋山・千葉編『教材憲法判例』北大図書刊行会

## 行 政 法

非常勤講師 秋 山 義 昭

(小樽商科大学短期大学部助教授)

現代国家における国家機能の変遷に伴ない、行政府の役割は積極化し、その作用も複雑となった。行政活動も、いきおい、国民の権利、自由と接触する度合を強めてきている。このような状態においては、行政目的を達成すると同時に、行政府の活動をコントロールする法的なシステムが必要である。行政法は、歴史的にもこのような機能を担うものとして登場してきた。

講義では、したがって、行政法のこのような統制機能に着眼し、その体系的構造を知るとともに、具体的なケースを通して現実に果たしている役割を認識することに努める。なお、受講生は、すでに、憲法、民法の単位を取得していることが望ましい。

テキスト；秋山ほか「教材行政法判例」(北大図書刊行会)

## 民 法 I

助教授 神 田 孝 夫

従来、民法Iでは民法典の総則編・物権編を主な対象としてきたが、本年度は、一般的な体系にこだわらず、広範な民法学の対象からとくに重要な問題点を渉猟して講義を進めたい、と思う。

テキスト 乾昭三編「民法入門(1)(財産法)」有斐閣

六法全書は必携、市販されているもののいずれでも構わない。

## 民 法 II (前期)

助教授 神 田 孝 夫

前期を私が担当する。講義内容は、次の諸テーマに重点がおかれる。

- 1 保証・担保
- 2 不動産用益権
- 3 各種の契約
- 4 相続

テキスト、参考書は、講義開始時に指示する。

なお、出席者が少ない場合は、ゼミ室(417号室)で行なうこともあるので注意されたい。

講義に出席していないで単位をとることは、まず不可能と考えて下さい。念のため。

## 民法Ⅱ(後期) 非常勤講師 飯塚和之 (小樽商科大学短期大学部助教授)

後期は、民法典債権編のなかで、「事務管理」「不当利得」「不法行為」を対象とする。重点を「不法行為」の部分に置く。人数が少ない場合には、報告担当者を決めて、『テキスト』を輪読することも考えられる。

テキスト：民法判例百選Ⅱ債権(別冊ジュリストNo.47)800円。

参考文献：基本書として、遠藤他編『民法(7)』(有斐閣双書),750円,  
加藤一郎『不法行為』(法律学全集),1800円。

本格的なものとして、有泉享監修『現代損害賠償法講座全8巻』  
(日本評論社),加藤一郎編『注釈民法(19)』(有斐閣)

## 商法Ⅰ 助教授 青竹正一

初めに商法の序論的説明を与えたのち、主として会社法を取りあげる。

現今の主要な企業のほとんどは共同企業の典型的形態である会社組織をもって経営されており、現代の資本主義経済は会社とりわけ株式会社制度とはなれては考えられないといってよい。会社法は、このような会社組織の成立から消滅に至る諸段階における利害関係人の利益調整を行なうことを主たる目的としている。講義は、かかる目的すなわち、会社法が現実の企業・経済生活において實際上どのように機能しているかを知るために、できる限り判例などの具体的素材を提起しながら進めていく。

なお、商法は専門・技術的性格が強い法律なので、講義を聞かない独学型

には向かないであろう。

教科書：上柳・北沢・鴻・竹内編『会社法Ⅰ,Ⅱ』(有斐閣双書)

参考書：鈴木竹雄著『新版会社法(全訂第一版)』弘文堂

『商法の判例(第二版)』(ジュリスト別冊)

『会社判例百選(新版)』(ジュリスト別冊)

『新商法演習1,2』有斐閣

## 商法Ⅱ 非常勤講師 石原全 (小樽商科大学短期大学部助教授)

本年度は約束手形を中心として手形法、小切手法を講義します。一般に手形、小切手は完全有価証券と称され、取引の簡易決済手段ですが、本来的に流通性を予定しているため取引安全が高度に支配します。他方、私的自治の原則上、振出人等の静的安全も無視しえない。両者の相克を法はどのように解決しているかを中心として講述します。テキストは使用しませんが、参考文献としては、さしあたり次のものが理解に便宜と思われれます。

服部：手形法、小切手法(改訂版)(商事法務研究会)

大隅：改訂手形法小切手法講義(有斐閣)

河本：約束手形法入門(三版)(〃)

法曹会編：手形・小切手法の論理(上)(下)(法曹会)

鈴木等編：手形小切手判例百選(新版・増補)(ジュリスト別冊No.24)

## 労働法 助教授 道幸哲也

雇用関係から生ずる法的紛争をいかに解決するかを主に裁判例を素材にしつつ講義します。その内容は以下のとおり。

Ⅰ 総論 市民法から社会法へ

Ⅱ 集団的労働法 (1)団交 (2)労働協約 (3)争議行為 (4)労働組合 (5)不当労働行為 (6)官公労働法

Ⅲ 個別的労働法 (1)労働契約・就業規則 (2)賃金 (3)労働時間・休日 (4)労災 (5)女子・年少者保護 (6)解雇

受講者は、民法Ⅰ,Ⅱをあらかじめ、もしくは併行して受講することが好ましい。また、開講時までには労働法の概説書を一冊及び労働現場の実態につ

いて書かれた文献を読んでおくこと。たとえば、前者の例としては、中山・岸井・門田・深山・山本・坂本「労働法入門」(有斐閣新書)、花見忠「労働基本権」(中公新書)がある。後者の例としては、鎌田慧「自動車絶望工場」、斎藤茂男「わが亡きあとに洪水はきたれ! ルポルタージュ 巨大企業と労働者」(現代史出版会)等がある。

実定法の解釈が中心なので、小六法(岩波もしくは有斐閣)は不可欠。また、ジュリスト別冊「労働判例百選(3版)」を用意してください。教科書は使用しません。

## 経 済 法 教授 小 原 喜 雄

(1)独占、カルテル等による市場メカニズムの歪曲を国家権力の介入によって是正しようとする国内経済法および(2)各国の経済法間の抵触を国際的に解決しようとする国際経済法を扱う。

<テキスト>小原喜雄編著「ケースブック経済法」(蒼文社)

<参考書>正田・実方編「独占禁止法を学ぶ」有斐閣選書

「独禁法審決・判決百選」(第2版)ジュリスト別冊

## 国 際 法 助教授 大 谷 良 雄

本年度の国際法の講義は、200カイリ時代の到来を迎えて伝統的な秩序の再構成を迫られている海洋法を中心に行う。講義内容及び参考文献については、第1回目の講義の折に説明する予定である。

## 国 際 機 構 論 助教授 丸 山 直 起

戦後国際社会の構造分析——理論とケース・スタディ

政策決定論、システム論、統合理論、紛争、平和、

テキストは使用しない。

参考書として、武者小路公秀『国際政治と日本』(東大出版会)、武者小路ほか『国際学』(東大出版会)、武者小路ほか『国際政治学』(有信堂)をあげておく。

## 6 教 職 科 目

### 教 育 原 理

非常勤講師 松 田 光 一

(小樽女子短期大学助教授)

(「教育学」のところを参照すること。)

### 教 育 心 理 学

非常勤講師 大 黒 静 治

(北海道教育大学札幌分校教授)

#### I 学 習 と 教 授

知ることと教えることとは別である。教えるためには学習の原理、原則、学習の過程などを知る必要がある。したがって前半はこれらの問題や、教授法、学習の評価、知能と創造性などの問題を講義する。

#### II 生 徒 の 理 解

教える相手の心理的特性を知ること、教育においてはきわめて大切である。後半は主として、パーソナリティとその理解、適応と不適応、青年期の心理的特性などを講義する。

テキストは使用しないが、教育心理学の課題や考え方を知らるための参考書として、次の二つをあげておく。

伊藤・坂野・鎭編:「教育心理学を学ぶ」有斐閣

波多野・久原:「入門教育心理学」有斐閣

### 商 業 科 教 育 法 (前 期)

非常勤講師 米 津 富 二 郎

(専修大学北海道短期大学教授)

商業教育が、ほかの産業教育と共に、現行学校教育制度の下に、どのように取扱われているかを、高等学校での商業教育を中軸にしてその実態を検討していく。最後にこの教育の歴史を考え反省を加え将来への展望をも加えたい。

将来必ずしも商業科教員を目指さない方々にとっても、一つの学習経験として望ましいものと思う。

- I 商業教育の概念と目的（実業・産業・職業・技術等の各教育の目的、領域、機関）
- II 学校教育における商業教育（目標、内容、組織、方法）
- III 高等学校における教育計画と商業教育（教育課程と商業教育）
- IV 学習指導法と評価（商業科目の特質と目標及び内容、指導法、評価）
- V 商業教育における施設々備
- VI 商業教育の歴史と反省及び将来への展望。

参考書

文 部 省	改訂高等学校学習指導要領	内閣印刷局
各 社	教育六法	各 社
大埜隆治	高等学校新商業教育論	市ヶ谷出版
武市春男	新版商業教育論	国元書房
奥村恒夫	新訂商業科教育法	大明堂

道徳教育の研究（集中講義）  
（2単位）

非常勤講師 宮 本 実  
（北海道教育大学札幌分校教授）

教育実習（2単位）—集中講義—

教 授	麻 田 四 郎
"	脇 田 勇
助 授	中 橋 国 蔵
"	山 田 一 生
講 師	中 善 宏

教 育 史（後期） 非常勤講師 竹 田 正 直  
（北海道大学教育学部助教授）

すべての社会現象は、自然現象と同様、これを運動においてとらえなければならぬ。そしてこの運動に法則を見出すのが科学である。教育学もまた、科学の一分野であるから、教育の発展、その歴史的な法則を具体的に明らかにすることを、その重要な部分として有している。すなわち、原始共同体以来、現代にいたる教育の歴史を、その発展のそれぞれの局面において特徴づけ、その具体的な姿を闡明にしつつ、法則性を抽出することを教育史は課題としている。

教育はしかし、他のすべての文化現象と同じく、その内在的な発展法則を持つが、教育の歴史的発展が、社会の経済的・政治的発展によって規定されることは否定できない。したがって以下の各章においてまず、社会構成体の具体的特徴を述べ、ついで、それに規定されつつ、相対的独自の発展法則を有する教育の歴史的な特徴を述べる。この叙述は、原始共同体から現代にいたる。

- 第一章 原始共同体の社会的諸過程における教育機能
- 第二章 古代奴隷制・専制国家と学校の発生
- 第三章 中世封建制下の身分的宗教的教育
- 第四章 絶対主義及び産業資本主義時代の学校と教育思想
- 第五章 帝国主義時代における教育政策と教育運動
- 第六章 社会主義体制の成立と統一労働学校

- 参考文献
1. 梅根悟著『教育の歴史』新評論社 1962年
  2. 宮原誠一編『教育史』東洋経済新報社 1963年
  3. 鈴木朝英編『民主教育の理論』上・下巻、明治図書 1967年
  4. 講座『現代民主主義教育』1～5巻、青木書店 1969年
  5. 梅根悟監修『世界教育史大系』講談社 1974年～1977年

英 語（上級I） 教授 武 本 昌 三

Ashley Montagu, *The Cultured Man*, 成美堂, ¥630.

上記のテキスト以外に必要なあればプリントを追加する。このクラスでは欠席が三分の一を越える者には原則として単位を認めない。また、開講時に無断で継続して五回以上欠席したものは、履修の意志なきものとして履修者

名簿より除外し、それ以後のクラスへの出席は拒絶する。

## 英語（上級Ⅱ） 助教授 永原和夫

- テーマ：小説における主題と表現
- テキスト：James Joyce: *A Portrait of the Artist as a Young Man*, Eichosha-Penguin Books, ¥1,200.  
参考書等は適時指示する。

## 英語学Ⅰ 非常勤講師 北市陽一 (北海道大学文学部助教授)

英語学の領域で主として文法を取扱います。授業は輪読形式で行いますので、出席を重視します。評価は、クラスワーク、筆記試験、レポートなどの結果と総合して行います。

- テキスト
- Frank Palmer: *Grammar* (Penguin Books)
  - R. Quirk & S. Greenbaum: *A University Grammar of English*  
(Longman)
  - R. A. Close: *A University Grammar of English Workbook*  
(Longman)

(注意) E214の欄にある注意を参照すること。

## 英文学Ⅰ 教授 脇田 勇

(「英文学」のところを参照すること)

## Ⅲ 研究指導要項

### 麻田教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際経済学（理論および政策）の諸問題
- 2 指導要領  
3年度生は原書（英語）の輪読。卒業年次生は個別テーマによる卒論指導
- 3 テキストおよび参考書  
未定。後日一括発注。
- 4 申込みの条件  
(イ) 経済学概論履習済みの者、(ロ) 英語の読解に自信ある者、(ハ) 将来海外で活躍しようとする者。募集人員……15名以内
- 5 選考の方法  
経済学概論（サミエルソン「経済学」レベル）と英語の簡単な試験を行う。テストの日時・場所……後日詳報（11月中旬）

### 足立教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際金融にかんする諸問題……国際通貨体制、為相場制度、金問題、S  
DR, L/C など。
- 2 指導要領  
(イ) 全般……小樽商科大学の卒業生として恥ずかしくないだけの国際的視野と語学力の養成に重点を置く。  
(ロ) 3年次……国際金融の基礎理論と実際およびこれらに関連した語学力の養成。3年次生は必ず国際金融を履修し単位を取得すること。万一単位を取得できない場合は自動的にノンゼミに移行する。  
(ハ) 4年次……個別的研究指導および卒業論文。
- 3 指導テキストおよび参考書  
(イ) 3年次……講義のはじめに指示する。  
(ロ) 4年次……プリンストン大学国際金融双書などを用いる。

## 長谷部教官担当研究指導

- 1 研究主題  
日本経済あるいは北海道経済にかする統計的分析。
- 2 指導要領個別テーマによる研究・報告・討論  
ただし3年次の前半はテキストの輪読
- 3 テキスト  
52年度は小宮隆太郎著「現代日本経済研究」(東京大学出版会)

## 早見教官担当研究指導

1. 研究主題 財政と財政政策に関する研究
2. 指導要領：3年生は以下のテキストを読む。その後のテキストは検討の上きめる。4年生前半までテキスト中心の学習、その後、卒論のまとめを行う。  
Rosalind Levacic, *Macroeconomics: The Static and Dynamic Analysis of a Monetary Economy* (London: The Macmillan Press, 1976). ca. ¥3,400.
3. 申込みの条件：経済学概論を履修済みのこと。なお例年小人数なうえ、進度は早いので、英語ふくむ学力がないと、ついていくのは大変なようである。
4. (1) テキストは、人員確定後一括申込み。  
(2) 開講までに、以下の本を読んでおくこと。  
宮沢健一著『国民所得理論』(筑摩書房、改訂版)

## 久次教官担当研究指導

- 1 研究主題 数理統計学
- 2 指導要領  
3年次：基礎的文献の講読  
4年次：個別研究テーマに応じた追加文献の講読および卒業論文の作成
- 3 指導テキスト  
3年次生：(1) 石井吾郎著『数理統計入門』培風館  
(2) H. Theil "Principles of Econometrics", John Wiley, 1971.

- 4年次生：(1) 草間時武著『統計学』サイエンス社  
(2) B. W. Bolch & C. J. Huang, "Multivariate Statistical Methods for Business and Economics", Prentice-Hall, 1974.  
(3) A. Zellner, "An Introduction to Bayesian Inference in Econometrics", John Wiley, 1971.

- 4 申込みの条件  
(1) 「統計学」および「経済学概論」を履修中または履修済みであること。  
(2) 研究意欲の旺盛であること。
- 5 選考の方法 面接およびテスト
- 6 その他  
解析学(偏微分, 重積分の初歩など), 線形代数(固有値問題など), プログラミング(FÖRTRAN)については2年次までに修得しておくこと。

## 望月教官担当研究指導

1. 研究主題  
経済政策・計画の方法とその応用, および経済体制の比較に関する研究。
2. 指導要領  
テキストの講読と輪番制による報告, できれば演習問題(たとえば数量モデル)などを解くこと, 数量モデルをつくることなどを試みたい。  
抽象的なモデルの背後にある経済的意味づけを考える習慣を養いたい。
3. 指導テキストおよび参考書  
1. Dorfman-Samuelson-Solow; "Linear Programming and Economic Analysis" (¥1,760)  
2. E. Kuh, R. Schmalensee; *An Introduction to Applied Macroeconomics* (予定)
4. 申込み条件  
経済理論と, 数学的手法に興味をもっていること。問題意識をもちそれを経済理論に適用しようと考えている者。
5. 選考の方法(面接・テスト等)  
申込が10人をこえた場合, 選考することがある。しかし, いずれにしても面接の上決定する。面接の日時はおって掲示する。
6. その他

無断欠席を認めない。

### 増井教官担当研究指導

- 1 研究主題 経済変動の理論的・実証的研究
- 2 指導要領
  - イ 全般：貨幣理論に基礎をおく変動論の研究
  - ロ 3年次：基礎的文献の輪読
  - ハ 4年次：個別研究テーマの報告、討論
- 3 指導テキストおよび参考書  
M. R. Darby, *Macro-economics*, McGraw-Hill, A. Leijonhufvud, *On Keynesian Economics and the Economics of Keynes*, Oxford u.p., R. Clower, *Readings in Monetary Theory*, Penguin

### 吉武教官担当研究指導

1. 研究主題  
会政策及び工業経済学をめぐる諸問題。今年は最近刊行された下記著書を中心として福祉国家の問題に焦点をしばってみたい。
2. 研究指導
  - (i) 3年次生は下記ロブソン教授の本を輪読。
  - (ii) 4年次生は各次卒業論文にとりかかる。
3. 指導テキスト及び参考書  
W. A. Robson, *Welfare State and Welfare Society* (London: George Allen & Unwin, 1976) P.179 ¥2,240
4. 申込みの条件  
上記ロブソンの原書はかなりの語学力と社会科学の知識必要とするので英語の実力のある者に限る。経済学概論その他一般に成績の良好な者を優先する。  
参加を認められた者であっても、将来欠席回数が多く、欠席回数がゼミ回数の1/3をこえる時には除名する。

### 井上教官担当研究指導

- 1 研究主題  
経済史研究のための基礎理論  
——『資本論』研究——
- 2 指導要領  
『資本論』の内容を厳密に理解することに指導上の力点をおく。  
4年次では卒業論文の準備を重視する。
- 3 指導テキストおよび参考書  
テキスト：マルクス『資本論』1～3巻，大月書店，普及版を使用する。  
参考書：ローゼンベルグ『資本論注解』，青木書店；『資本論辞典』，青木書店，その他については，後に指示する。

### 長谷川教官担当研究指導

- 1 研究主題  
日本経済史。19世紀の蚕糸・線糸の生産と流通を中心に，日本資本主義発達の特徴を考える。
- 2 指導要領  
テキストの講読と併行して，統計資料の分析や文書史料の講読を行なう。なお各自の研究（卒論）テーマは，日本経済史に関するものならば自由に設定してよい。
- 3 指導テキストおよび参考書  
河野健二・飯沼二郎編『世界資本主義の形成』岩波書店，山田盛太郎著『日本資本主義分析』岩波書店，石井寛治著『日本蚕糸業史分析』東大出版会，上条宏之校訂・和田英著『定本富岡日記』創樹社。
- 4 申込みの条件  
「経済原論Ⅱ」「経済史概論」の履修者。自己の研究課題設定の意欲を有すること。
- 5 選考の方法  
簡単なテストおよび面接による。なおゼミの選考を受ける者は，あらかじめゼミ志望の理由と研究したいテーマについて，400字詰用紙2～3に記述し，提出すること。

## 6 その他

ゼミ活動の一環として、適時に見学や研究旅行を行なう予定。

### 遠藤教官担当研究指導

#### 1 研究主題

計量経済学の方法についての研究

#### 2 指導テキスト

J. ジョンストン『計量経済学の方法, 全訂版』

### 釜江教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

金融論の実証的研究 (特にマネタリー・エコノメトリックス)

#### 2. 指導テキスト

52年度は Levacic, *Macroeconomics* (Macmillan, 1976)

#### 3. 申込の条件

「経済学概論」を2年終了時までにはパスしていること。「原論I」「統計学」をパスできること。

3年生は必ず「金融経済論」を履修しパスすること。

### 野沢教官担当研究指導

スミス『国富論』を共同で読む。

### 伊藤教官担当研究指導

#### 1 研究主題

トップマネジメントの職能を体系的に研究し、経営戦略の展開について考究する。

#### 2 指導要領

第4年次では、引き続き原書講読を行ない後半は卒論指導を主とする。

#### 3 指導テキストおよび参考書

現在使用中のものは次の通り。

Reading in Management by Richard & Nielander

### 鈴木教官担当研究指導

#### 1. 研究主題 International Portfolio Investment

#### 2. 指導要領 3年次 報告

4年次 各自の選択にもとづいた卒論指導

#### 3. テキスト (最近3年次に使用したもの)

小宮隆太郎『国際経済学研究』岩波書店

G. W. MCKENZIE, *The Economics of the Euro-Currency System.* Macmillan, 1976,

PRINCETON UNIV., *International Finance Paper.*

#### 4. 履修要件

(イ) 研究に意欲的。

(ロ) 理論研究に興味を有する。

(ハ) 英語に自信を有する。

### 斎藤教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

商品の使用価値を中心とした価値並びにマーケティング時代における商品の社会的価値を品質要因、価格要因、販売活動要因 (広告など) と関連づけて追求する。

#### 2. 指導要領

(イ) 全般: 上記の主題に関する原書や論文を講読し、報告・討論を通じて理解を深める。

(ロ) 52年度: 商品の価値と商品政策に関する入門書的な原書を講読し基本的知識の修得とその応用能力を養う。

(ハ) 53年度: 個人テーマによる文献講読と卒業論文の指導。

#### 3. 使用テキスト

L. Abbott: *Quality and Competetion* (1965)



飯島義郎等：品質基礎理論

その他、商品政策、商品マーケティングに関する参考書。

4. 申し込みの条件

ゼミナールの参加希望者は、2年次終了時において語学（第1，第2外国語）及び基礎教育科目の所要単位を取得したものであること。

5. 決定の方法

テストおよび面接による。

### 久野教官担当研究指導

1 研究主題

会計学（簿記学をふくむ）

2 指導要領

3年次：わが国の『企業会計原則』の批判的研究と外書講読を中心にして基礎的知識を修得させる。

4年次：卒業論文の指導—各人の発表をもとにしてディスカッションを行なう。

3 指導テキストおよび参考書

3年次の前半において

片野一郎、『簿記精説（上）・（下）』（同文館，1977）を講読し、後半から外書を使用する。

4 申し込みの条件

2年次終了時において語学その他の基礎教育科目の所要単位を取得し、かつ簿記学の単位を優秀な成績で取得可能な者。

5 その他

ゼミという組織にかんがみ、ゼミに求める以上にゼミに貢献できる人物を望みます。

### 山下教官担当研究指導

1. 研究主題

マーケティング・システム・モデルの研究

2. 全般：研究主題にかんする基礎的文献の検討を行ない、モデルビルデン

グの理論と実際を研究する。

52年度：文献研究，報告と討論形式をとる。尚，レポートを義務づける。

53年度：卒論指導（4年次早々に卒論テーマを設定し，それに関する報告討論及びレポート作成を各自何回か義務づける。）

### 和田教官担当研究指導

本ゼミナールでは数年前より、薬物依存，特にアルコール依存を中心テーマとして社会病理学的調査研究を続けてきた。すでに有能な卒業生諸君の実態調査を含むかなりのデータも集積しており，これらの資料へ再検討を加えつつ，何とか薬物（特にアルコール）の使用と労働行為との相関に関する総括的な検証を試みたいと考えている。本年度はその手始めとして，関連する文献を更に収集し，ゼミナリストと一緒にそれを読み，問題の焦点へ接近したいと思う。従って，今まで時間をかけて行なっていた三年次学生の心理学的基礎的講読は早めに切りあげ，専門的資料文献をできるだけ早期から手がけてもらうことにする。資料文献のほとんどが英語の雑誌論文であるから，英語に精通せる本学の学生諸君には何らの障害もないはずである。

### 石原教官担当研究指導

1. 研究主題

証券市場理論・証券市場の歴史（アメリカ・日本）

2. 指導要領

原書の講読，報告，討論。

3. 履修要件

経済原論（Ⅰ），（Ⅱ），経済史概論を履修済みのこと。

4. 使用テキスト

アメリカの金融市場，証券市場に関する歴史書を原書で読む。

例えば， Vincent P. Carosso, *Investment Banking in America*, 1970, Harvard Univ. Press,

### 篠崎教官担当研究指導

1 研究主題

管理組織論の客観的批判的分析。

## 2 指導要領

当初、社会科学のものの考え方の基礎的なところを固めるように意図する。漸次、専門的に、行動科学的組織論へと向う。

## 3 テキスト、参考書

### 3 年次生

大塚久雄著「社会科学の方法」岩波新書

内田義彦著「社会認識の歩み」 //

「資本論の世界」 //

本田修郎「科学思想史概説」朝倉書房

### 4 年次生

バーナード「経営者の役割」ダイヤモンド社

サイモン「経営行動」 //

March & Simon, *Organizations*, Wiley, 1958

## 中橋教官担当研究指導

### 1. 研究主題

意思決定論的経営ないし経営組織論。

### 2. 指導要領

52年度：下記のテキストを講読して、意思決定論、経営組織論の基本問題や基礎概念を学習する。それとともに、英語（専門）の読解力を養う。できるだけ早い時期に個人研究へすすむ。

53年度：卒論作成

### 3. 指導テキスト

Herbert A. Simon, *Administrative Behavior*, 3rd ed., Free Press, 1976.

### 4. 申し込み条件

- (1) 本を読むこと、文書を書くこと、そして、議論をすることの好きな者。
- (2) 企業（組織）行動の解明に興味を持つ者。

### 5. 選考の方法（面接・テスト等）

簡単な英語のテストをする。（英和辞典持込可）

### 6. その他

(イ) ゼミ開始時まで下記参考書を読んでおくこと。

(1) 占部都美著『改訂経営管理論』白桃, 昭50.

(2) 西田耕三著『企業行動科学の基礎』白桃, 昭44.

(ロ) 将来学究の道にすすみたいと希望する者を歓迎する。

## 中教官担当研究指導

### 1. 研究主題

管理会計（原価計算、予算統制を中心とする）

### 2. 指導要領

第1年度前半は、管理会計の基本的な概念を理解するために下記のテキストを講読し、その後、各自の選択したテーマについて個人報告を行なう。

### 3. 指導テキストおよび参考書

テキスト

Lynch, *Accounting for Management, Planning and Control*. McGraw. ¥1,700

参考図書

飯野利夫・山柁忠恕編集, 会計学基礎講座3 経営管理会計（有斐閣）。

伊藤 博, 管理会計論（同文館）。溝口一雄, 管理会計講義（青林書院新社）

### 4. その他

溝口一雄, 例解工業簿記（中央経済社）をゼミ開始前に精読していること。

## 沼田教官担当研究指導

### 1. 研究主題

オペレーションズ・リサーチ

### 2. 指導要領

3年目前半でオペレーションズ・リサーチ全般について学び、外国書を読む訓練をする。

そのあとで整数計画、ネットワーク問題についての入門書を読む予定。

### 3. 指導テキストおよび参考書

(1) Fundamentals of Operations Research R. L. Ackoff & M. W. Sasieni 1968

(2) Discrete Optimization Integer Programming and Network Analysis for Management Decisions D. R. Plane & C. Mc-Millan, Jr 1971

4. 申し込みの条件

- (イ) 通常の年限で卒業する見込みが十分あること。
- (ロ) 管理科学概論単位取得済みのこと。

5. 選考の方法(面接・テスト等)

面接のうえ総合的に判断してきめる。

6. その他

○私は、多くの学者先生達がおっしゃると同様に、偏見や先入観をもたないよう努力することが学問をする上で大切なことだと考えています。しかし言行不一致の例がいくらかでも発見できるところを見ると、これは大変難かしいことのようにです。

○私は「人は見かけによらないものだ」と強く思っています。

○私のゼミには、理科系の興味をもつ学生諸君が多へ集まる傾向があるようです。

○ゼミで見学旅行などをすることがあります。

3. 指導テキスト

Herbert A. Simon, Administrative Behavior, Wiley, New York, 1976.

4. 申し込み条件

(1) 本を読むこと、文章を書くこと、そして、議論をすること等が得意であること。

戸島教官担当研究指導

1. 研究主題 OS の理論または記号処理。

2. 指導要領 OS を解説し、それを参考に OS を形式化することを考える。記号処理は Lisp の処理系の開発を目指す。

3. 指導テキストをよび参考書 必要に応じて各種のマニュアルを参考にする。

4. その他 プログラミングの演習ではないので注意されたい。

樋口教官担当研究指導

1. 研究主題

システム理論に関する研究。

2. 指導要領

3年次：システム理論に関する文献の輪読およびコンピュータ・プログラミング技法の習得。

4年次：ヒューリスチック情報による問題解決法に関する研究。文献の理解とモデルの作製。

テキスト：“PRINCIPLES OF SYSTEMS” by Jay W. Forrester, WRIGHT-ALLEN PRESS

山田教官担当研究指導

1. 研究主題

Management Information Systems

組織変革と情報システムに関する理論的ならびに実証的研究。

(本ゼミ活動ばかりでなく、サブゼミ活動も併行しながら、種々の事例研究を通じての具体的 Models の開発研究も予定している。本年度は、特に Organization Decision Support Systems というプロジェクト研究への共同参加を通じて、上記の目標を達する予定である。)

2. 指導要領

(イ) 全般：現代組織管理に役立つ情報システム設計のための基礎理論と応用能力の涵養をはかり、明日の組織管理者あるいはシステム・エンジニアとしての適応力を高めることを目標とする。

(ロ) 3年次：使用テキストに従い、輪読形式で討論をすすめる。サブゼミ活動も同時併行する。

(ハ) 4年次：各自のテーマによる卒業論文の指導と完成。種々の事例研究を通じて理論と実践との橋渡しをはかる活動も同時併行する。

3. 指導テキストおよび参考書
- (イ) Michael S. Scott Morton, Management Decision Systems : Computer-Based Support for Decision Making, Harvard University, 1971.
  - (ロ) A. J. Melcher, ed., General Systems and Organization Theory: Methodological Aspects, Kent State University, 1975.
  - (ハ) E. E. Payne, J. E. Ross & R. G. Murdick, The Scope of Management Information Systems, American Institute of Industrial Engineers, 1975.
  - (ニ) 宮川公男, 『意思決定論』(丸善, 1975.)

4. 申し込みの条件

上記の研究活動への積極的な参加意欲と行動力をそなえた人物であり、しかも研究活動を継続するための時間的余裕と基礎的学力に支障のないことを条件とする。特に、道具としてのコンピュータの活用をはかることに十分な関心をもち、真の人間尊重のあり方を探究するために、各自のプロジェクトを最後までやり遂げるための忍耐力と精神力を要望する次第である。

若林教官担当研究指導

1. 研究主題

「マネジメントサイエンスとコンピュータサイエンスの基礎的研究」

2. 指導要領

- (イ) 管理科学の幅の広いものの見方、考え方を養う。
- (ロ) テキストの精読と演習。効率的なプログラミングの習得。
- (ハ) 下記のテーマについて卒業論文の作成。

- 数理計画法 (数理経済学を含む)
- シミュレーション
- データベース (データ構造, データベース言語, データベースシステム)

3. 指導テキストおよび参考書

- C. J. Date, An Introduction to Database Systems. 1975.
- N. Wirth. Algorithms+Data Structures=Programs, 1976.

J. Martin. Computer Data-Base Organization, 1975. : 目次のうちから1冊。

4. 申し込みの条件

英語の読解力があり、数理的な思考を苦としない者。セミナーの勉強に集中できる時間的余裕をつくれる者。

5. その他

第3年次の開始までに、セミナーのプログラム言語 PLAN の演習を最低10題は行なっておくことが望ましい。

小原教官担当研究指導

1. 研究主題

多国籍企業の市場行動と法的規制

2. 指導要領

- 3年次：下記テキストの講読
- 4年次：卒業論文テーマによる研究報告

3. 指導テキスト

The U. K. Department of Trade and Industry, The Impact of foreign direct investment on the United Kingdom, by M. D. Steuer and others (1973)

参考書

国連事務局報告「多国籍企業と国際開発」(国際開発ジャーナル社), 澄田・小宮・渡辺編「多国籍企業の実態」(日本経済新聞社), 週刊東洋経済 3746号(昭48・7・11), 経済セミナー256号(昭51・5)等

大谷教官担当研究指導

1. 研究主題

ヨーロッパ共同体法を中心とした、国際法, 国際組織法, 国際経済法の研究。

2. 指導要領

3年目：下記のテキストを使用してヨーロッパ共同体についての理解を深めること。

- 4年目：論文作成指導。
3. 指導テキストおよび参考書  
P. S. R. E. Mathijisen, *Aguide to European Community Law*,  
S & M, London 1972.
4. 申し込みの条件
- ① 研究意欲をもつもの。
  - ② セミのトレーニングにたえうる語学力（英語もしくはフランス語）をもつもの。
  - ③ 国際関係に興味もち、将来、国際舞台で活動することを希望するもの。
5. 選考の方法（面接・テスト等）
1. 面接
  2. 筆記試験（語学）
  3. セミ志望理由を文書にしてあらかじめ、学生課教務係に提出しておくこと。

### 神田官担当研究指導

- 1 研究主題  
民法判例の研究
- 2 指導要領  
民法判例の研究をとおして民法の理解を深める。  
毎回、二件の判例につきその要旨と問題点の分析を参加者に順次レポートしてもらい、全体で論議し検討する。  
四年次の九月以降は、卒論のテーマに関する研究状況を数次にわたり報告させる。
- 3 指導テキストおよび参考書  
テキスト「民法判例百選Ⅰ、Ⅱ」（ジュリスト別冊・有斐閣）  
「家族法判例百選」（ジュリスト別冊・有斐閣）  
「民法の判例」（有斐閣）  
参考書については開始時に紹介する。
- 4 申し込みの条件  
民法Ⅰを履修中の者であること。但し、二月に行なう民法Ⅰの試験で及第点をとれない者は、その時点で辞退することを期待する。

- 三年次又は四年次に民法Ⅱを履修すること。
- 5 選考の方法（面接・テスト等）  
参加希望者が異常に多い場合にのみ行なう。その方法は後日通知する。
  - 6 その他  
研究意欲旺盛で地道に勉強する態度が必要です。  
なお、相当の理由なく欠席するような態度をとる者に対しては卒論の相談は一切応じません。

### 青竹教官担当研究指導

- 1 研究主題  
会社法の研究
- 2 指導要領
  - (イ) 全般：会社法が現実の企業・経済生活とどのようなかかわりを持っているかを、判例・学説上重要と思われるいくつかの具体的問題をとおして検討し、会社法の現実的機能を理解してもらうことを目的とする。
  - (ロ) 52年度～53年度前期：使用テキストのうちいくつかの問題を選び、報告、討論してもらう。
  - (ハ) 53年度後期：各自の選択による論文の作成とそのための討論をしてもらう。
- 3 指導テキストおよび参考書
  - (1) 新商法演習Ⅰ・Ⅱ，有斐閣
  - (2) 商法の判例（ジュリスト別冊）
  - (3) 会社判例百選（ジュリスト別冊）
- 4 その他  
無断欠席者や研究意欲の認められない者は除名する。

### 丸山教官担当研究指導

1. 研究主題国際社会における平和。
2. 指導要領  
第3年次はテーマに関する論文の講読。

第4年次は論文作成。

3. テキスト、参考書

オスグッド著『戦争と平和の心理学』（岩波書店）、日本平和学会編『核時代の平和学』（時事通信社）など。

4. 申込の条件

問題意識を有すること。

### 高見教官担当研究指導

1. 研究主題

比較憲法の基本問題

2. 指導要領およびテキスト

さしあたり、① いい本をじっくり読んで、思考力を養うこと

② 文章表現力を身につけること

の2点に重点を置いて指導する。

そのために、① Carl J. Friedrich, Limited Government : A Comparison (1974)

② 丸山真男『戦中と戦後の間』みすず書房

を併読するが、①は全員で精読し、②は各自が熟読のうえレポートを書く。

### 道幸教官担当研究指導

1. 研究主題 労働判例及び労働問題の研究。

2. 指導要領

(1) 52年度前半：現代法と労働運動の実態についての基礎研究。

最初に、東大社会科学研究所編「基本的人権Ⅰ・総論」を読む予定。

(2) 52年度後半・53年度：労働判例の研究。

前半は判決文のコピーを読んでもらい毎回、全員にその要旨（事実関係と判旨）をまとめて提出してもらおう。後半は、レポーターを決めて判例評釈をやってもらおう。最終的には判決文を正確に理解し、その問題点を発見できるようになることを期待する。

3. テキスト

判決文はその都度指定します。参考書としてはジュリスト別冊「労働法の判例」を使用する予定。

4. 申し込みの条件

民法を履修していること。また、判決文を読むには民事訴訟法等の知識も必要なので自主的に研究する意欲のあるもの。パーソナリティの面では「たてまえ」よりも「ほんね」に興味ある者。

### ※一般教育ゼミ

教授 望月喜市

指導内容：本年度は露文による表現、露文をかくことに重点をおく。

使用テキスト：磯谷孝『ロシア語作文教程』三省堂 ¥1,600.

### ※一般教育ゼミ

助教授 丸山直起

指導内容：アラビア語による学習。アラビア語の初歩からはじめて、次第に

新聞、政治関係の文献などを読む。「塾」の雰囲気大切にしたいので、参加者は熱意ある者のみに限るが、資格経験は一切不問。

辞書、参考書については、授業の際提示する。